

第七十回帝國議會 院議

軍事救護法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
軍事救護法中改正法律案(政府提出)
北海道舊土人保護法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十二年三月二日(火曜日)午後一時二十
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川島正次郎君

理事手代木隆吉君 理事八角 三郎君

堀内 良平君 升田 憲元君

中村 又一君 齋藤 直橋君

石坂 豐一君 服部米次郎君

南條 徳男君 伊東 岩男君

林 路一君 松本治一郎君

前田 幸作君

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 山崎 巖君

北海道廳長官 池田 清君

陸軍次官 梅津美治郎君

陸軍少將 山脇 正隆君

海軍次官 山本五十六君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ

陸軍歩兵中佐 小林 隆君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍事救護法中改正法律案(政府提出)

北海道舊土人保護法中改正法律案(政府
提出)

○川島委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、北
海道舊土人保護法中改正法律案ニ對シマシ
テハ、前回既ニ質疑ガ終了シテ居ルノデア
リマス、同案ニ對スル討論ニ入りマス――

手代木隆吉君

○手代木委員 討論ニ先チマシテ一遍當局
ニ質問ヲ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川島委員長 許可致シマス

○手代木委員 ソレハ此間カラノ應答ニ
依ッテ大體ハ諒承シタノデアリマスルガ、土
人ノ救濟資金ノ問題デアリマス、共有財産
モ現金ハ五万圓程度デアリマス、土地ガ百
町歩ニ充テナイノデアリマスガ、其收益ヲ
以テ相當ナ施設ヲスルヤウナ計畫ニナッテ
居ルノデアリマス、此基本財産ト云フモノ
モ將來段々増加サレルコトデアラナラバ、
洵ニ結構デアリマスケレドモ、其點ガ此間
ノ當局ノ御答辯デハ尙ホ明確ヲ缺ク感ガア
ルノデアリマス、ソレデ將來此共有財産ノ
増加ト云フコトニ付テ、如何ナル確信ヲ持ッ

テ居ラル、カ、其點ト、モウ一ツハ豫算ニ
現レテ居リマス所ノ此經費ハ、吾々ノ考ヘ
ル所デハ尙ホ不十分ナ點ガ多イト思フノデ
アリマス、殊ニ勸業費、共同施設費、勸農
費、左様ナ方ノ所謂土人ノ生活ヲ向上安定
セシムル爲ノ費用ガ、此程度デハ甚ダ心細
イ感ジガスルノデアリマシテ、是ハ將來何
トカ漸次増額ヲシテ、ソレニ依ッテ只今申述
ベタヤウナ目的ヲ達スルコトニ、是非御願
致シタイト思フノデアリマスガ、之ニ對シ
テ如何ナル御方針ト、又ソレヲ實現スルコ
トニ付テノ確信ヲ有シテ居ラル、カ、其點
ヲ御伺シタイト思ヒマス

○池田政府委員 御答致シマス、救護救療
ニ關スル基本財産ノ増殖ニ付テ、將來如何
ナル考ヲ持ッテ居ルカト云フ御質問ノ要旨
ト承ッタノデアリマスルガ、是ハアッチコッチ
ニ基本財産ガ分レテ居リマシテ、處ニ依ッテ
ハ全ク之ヲ増加シテ行クト云フ見込ノナイ
モノモアリマスルガ、又場所ニ依ッテハ其
土地ノ値上リナリ、或ハ土地ヲ賣却シテ行
クト云フヤウナ方法ニ依ッテ、相當増額シテ
行ケルノデヤナイカト思ハレル見込ノモノ

モ、多々アルノデアリマス、先ヅ今ノ所デ
ハ五万圓ノ現金、九十町歩ノ土地ト云フモ
ノヲ基礎ニシテ、漸次増殖ヲ圖ルコトニ努
メタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、勸業費、
共同施設費、其他ノ費用ガ少イデハナイカ
ト云フ御問デアリマスルガ、尤モ「アイヌ」
土人ハ貧困ナ者ガ多イノデ、斯様ナ施設ニ
ハ金ノ支出ガ出來ル程宜イ譯デアリマス、
併ナガラ從來段々施設シタコトニ依リマシ
テ、其實績ヲ舉ゲテ來テ居リマスルカラ、
將來國ノ財政ナリ、又道ノ財政ナリノ都合
ヲ見テ、多少之ヲ考慮シテ行クト云フコト
ニナリマスレバ、十分トハ言ヒ難イノデス
ガ、大體ニ各般ノ施設ガ充實シテ行クト
ニナルモノト思ヒマス次第デアリマス、尙
ホ此點ニ付テハ御話モアリマスルカラ、將
來獨リ是等ノコトヲ一方ダケカラ見ルノデ
ナクシテ、各方面カラ見テ、各種ノ方法ヲ
講ジテ行キタイ、斯様ニ思ヒマス次第デア
リマス

○手代木委員 ソレデハ討論ニ入りマスル
ガ、本法案ハ多年ノ要望ニ基イテ、而シテ
又當局ニ於テモ種々調査研究セラレタ結

果、此成案ヲ得ラレタノデアッテ、其間ニハ
 土人ノ代表タルベキヤウナ多數ノ者ヲ集會
 セシメラレテ、色々意見ナドモ求メラレタコ
 トガアルノデ、土人ノ希望ハ大體之ニ織込マ
 レテ居ルモノト諒解致シテ居ルノデアリマ
 ス、舊法ニ較ベマスレバ、確ニ一段ノ進歩ヲ
 致シテ居ルノデアリマシテ、此點ハ洵ニ土人
 ノ仕合セデアルト考ヘルノデアリマス、而
 シテ舊土人ニ對シマシテハ、此程度デ尙ホ
 十分ナリトハ申兼ネルト思フノデアリマシ
 テ、是ハ此法ヲ運用スルニ當リマシテ、其
 局ニ當ル人々ノ特段ヲ考慮ト努力ヲ望マナ
 ケレバナラヌ次第デアリマス、舊土人ハ開
 拓使以來特別ニ保護ヲ加ヘルコトニナッテ
 居ルノデアリマスルガ、其當時文化ガ進マ
 ナイ爲ニ、少ナカラズ和人ニ其權利ヲ侵蝕
 サレ、彼等ノ安住ノ地ガ脅サレタノデアリ
 マシテ、或ハ漁業ノ方面ニシテモ、殆ド和
 人ニ權利ヲ占メラレテ、其年來生業ト致シ
 タ漁業ニ從事スルコトガ出來ナイデ、唯僅
 ニ人ニ雇ハレルヤウナ身分ニ落チテ居ル者
 ガ多數アルノデアリマス、又土地ノ方ノ關
 係モ、此法案ニ關聯シテ質問致シタ通り、
 甚ダ彼等ノ開墾致シテ居ル面積ガ少イノデ
 アリマシテ、是等モ偏ニ彼等ガ法ノ上ニ眠ッ
 テ居ッタ點カラ來タコトモアリマセウシ、又

無智ニ乘ジテ色々實際ノ權利ヲ和人ニ剝奪
 サレタ者モアルノデアリマシテ、段々彼等
 モ向上ハシテ居ルノデアリマスケレドモ、
 尙ホ和人ニ伍シテ眞ニ同等ノ生活ノ安定ヲ
 得ルナドト云フコトニハ、未ダ達シナイ者
 ガ多數アルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ
 考ヘマスル時ニ、ドウシテモ一層ノ保護ノ
 厚キヲ加ヘマシテ、是等ヲ出來ルダケ速ニ
 引上ゲマシテ、隨テソレニ依ッテ此保護法ノ
 理想トシマス所ノ所謂同化、遂ニハ此保護
 法ノ必要ナキニ至ル迄ニ之ヲ達セシメナケ
 レバナラヌノデアリマス、其點カラ見マシ
 テ、此上是レ以上ノ保護法ヲ制定スル必要
 ガ、將來ニナキヲ期サナケレバナラヌト考
 ヘルノデアリマス、茲ニ新法ニ依ッテ、愈々
 舊土人ガ特段ノ救濟ヲ受ケルト云フコト
 ハ、洵ニ吾々特ニ北海道ニ緣故ノ深イ者ト
 シテ、喜ビニ堪ヘナイ所デアリマス、本法案
 ニ對シテ贊意ヲ表シ、是ガ實行ニ當リマシ
 テハ、前申上ゲマシタ通り、此法案ノ趣旨ノ
 目的貫徹ノ爲ニ、當局ニ於カレテハ特段ノ
 考慮ト努力ヲ拂ハレ、又只今質問致シマシ
 タヤウナ、此經費ノ充實ヲ圖ルト云フヤウ
 ナ點ニ付テモ、一段ノ考慮ヲ拂ハレンコト
 ヲ希望致シマシテ、本案ニ贊意ヲ表スル者
 デアリマス

○南條委員 只今手代木委員ノ質疑、ソレニ
 對スル政府當局ノ御答辯ニ依リマシテ、又
 今迄ノ私共ノ質問ニ對スル當局ノ御答辯等
 ニ付キマシテハ、私共ハ十分満足トハ申サ
 レマセヌ、殊ニ只今手代木委員ノ質問サレ
 マシタ此勸業費、或ハ勸業費或ハ共同施設
 等ニ對シマシテハ、同ジク其額ノ不足デア
 ルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ
 是等ハ只今政府ノ御答辯ノ如ク、將來十分御
 考慮ナサルト云フ御方針ノヤウデアリマス
 ルカラ、其點ニ付テハ私モ其御答辯ニ期待致
 スノデアリマスガ、要ハ斯様ナ時勢ニ伴ッテ
 改善サレル所ノ法律ノ精神ヲ行フト云フコ
 トハ、其手足トナッテ働ク町村ノ町村長或ハ
 支廳長トナッテ居ル人々ガ此法ノ運用ヲ如
 何ニスルカト云フコトニ、私ハアルノヂヤ
 ナイカト思フ、彌ガ上ニモ是等ノ經費ノ足
 リナイ所ニ、是等ノ自治體ノ町村長或ハ支
 廳長等ノ人々ガ、此舊土人ニ對スル所ノ保護
 ノ精神ヲ忘レルトハ申シマセヌガ、兎角和
 人ヨリモ其取扱ニ粗略デアッテ、閑却スルノ
 傾向ハ從來屢々アッタノデアリマス、ソレガ爲
 ニ少クトモ此舊土人ノ諸君ガ、不平不満ヲ
 唱ヘテ居ルト云フコトガアリマスルカラ、
 幸ヒ本法ガ改正サレマス同時ニ、此政府
 當局ノ精神ヲ、十分是等ノ地方自治體ノ町

村長或支廳長等ノ人ニ、十分此趣旨ヲ徹底
 サレマシテ、取扱ニ於テ懇切丁寧ヲ極ムル
 ヤウニ、サウシテ舊土人ノ精神ニ此法律デ、
 色々庶幾スル所ヲ反映セシムルヤウニ、格
 段ノ御努力ヲ願ヒタイト云フコトヲ御願ヲ
 シテ、本法ニ贊成ヲスルノデアリマス

○川島委員長 討論ハ終局致シマシタ、採
 決ヲ致シマス、本案ニ對シマシテハ修正意
 見ハ出テ居リマセヌ、原案ニ對シテ贊成ノ
 諸君ノ御起立ヲ望ミマス

〔贊成者起立〕

○川島委員長 起立多數、本案ハ可決致サ
 レマシタ

○川島委員長 次ニ軍事救護法中改正法律
 案ニ對スル質疑ヲ繼續致シマス——前田君
 ト升田君ニ申上ゲマスガ、前回ノ御質問ニ
 對シテ、政府ガ保留サレテ居ル答辯ハ、陸
 軍次官ガ御出席ノ上、爲サルサウデアリマ
 スカラ、ソレ迄御待チヲ願ヒマス——八角
 委員

○八角委員 此法案ガ改正致サレマシテ實
 施セラレマス場合ニ、只今頂戴致シマシタ
 資料ノ中デ、第二條ノ第二號ノ改正ニ依ル
 人員、ソレカラ金額、ソレハ今割ッテ見マス
 レバ分リマスノデゴザイマスガ、第三條、

第五條改正ニ依ル、是ハ扶助ノ標準改正ニ依ッテ扶助額ノ増加セラレタモノ、ソレカラ新シク一万幾ラト云フモノガアリマスガ、是ハ一人當リ幾ラニナリマスカ、ソレカラ第十三條ノ追加ニ依ルモノ、是ガ扶助期間ノ延長ニ依ッテ増額セラレル金デアリマスルガ、是ハ下士官兵ノ家族ガ一人當リドノ位ニナッテ居リマスルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○山崎政府委員 第五條ノ改正ニ依リマスル方ヲ先ヅ申シマスガ、第五條關係デ主ナルモノハ生活扶助ノ經費デゴザイマシテ、ソレガ總額三十七万四千九百八十四圓ノ中デ、三十六万七千三百三十四圓ヲ占メテ居リマス、其中デ被救護者ノ増加ニ依リマスマス、金額ニ致シマシテ八万二千五百七十七圓、ソレカラ扶助標準改正ニ依ル單價ノ増額ガ、一人年額二圓五十錢デアリマシテ、其金額二十八万四千七百五十七圓ト云フコトニ相成ッテ居リマス、其外ニ第五條關係ニ於キマシテモ、醫療費、助産費、臨時生活補助費、埋葬費ト云フモノガ僅カゴザイマス、其生活補助ヲ除キマシタモノデ小計致シマスルト、七千六百五十圓ト云フコトニ相成ル譯デゴザイマス、ソレカラ第二ノ御

尋ノ十三條ノ二ノ追加ニ依リマス分デゴザイマスガ、是ハ下士官兵ノ家族一人六十錢ト見テ二万一千四百九十八圓ノ豫算ヲ計上致シテ居リマス次第デアリマス

○八角委員 サウシマス此人數デ、今此處ニ出テ居リマスノヲ勘定致シマス、第三條第三號、第四條第三號ノ追加ニ依ルモノハ八百二十九人、二万餘圓、一人ニ割ッテ見マスト二十五圓ニナルヤウデアリマス、サウシマス、ズット通ジテ見マス、ドウモ是ダケノ金デハドウカト云フヤウナ感ジガ致スノデアリマス、唯本法ガ制定サレマシタ大正六年カラ既ニ二十年モ經ッテ居リマス、今日滿洲事件ガ起ッタリ色々ナ事ヲシテ、此適用ヲ受クベキ人ガ殖エテ居リマス、又社會ノ情勢モ違ッテ居リマスカラ、今日日本法ガ改正ニナリマシタノハ、假令遅レタト雖モ當然ナルコトダト存ジマシテ、寧ロ私共ハ其遲キヲ思ハシメルモノデアリマスケレドモ、其實際ニ付キマシテハ、私ハ此法ノ適用ノ範圍ガ擴張セラレ、又之ヲ受ケル者ガズット殖エテ參リマシタト云フコトニ付キマシテハ、全然贊同ノ意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ能ク此實質ヲ考ヘテ見マス、如何ニモ人員ガ殖テ居ルノニ、金額ノ殖エ方ト云フモノガ左様ニ行ッテ居

ナイ、社會情勢ノ要求ニ並行シテ殖エテ居ルトハ、私ハドウ考ヘテモ、只今ノ個人ニ對スル一人々々ノ金額カラ考ヘマシテモ、左様ニハドウシテモ思ヘナイノデアリマス、一體私共ノ立場カラ申シマス、軍人ノ家族遺族ニ後顧ノ憂ヒナカラシメルヤウニ致スコトガ必要デアアル、軍務ニ服シ、戰場デ國家ノ爲ニ命ヲ捨テマス者ニ對シマシテハ、國家ハ當然後顧ノ憂ヒヲ無カラシメ、安ンジテ死ナシメルト云フ所マデ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ國家當然ノ責務デアアルト思フ、前ニ御説明ガアッタヤウニ、是ハ國家トシテ爲スベキコトデ、當然ノ責務ダト思フ、然ルニ此豫算ノ實體ヲ、斯ウ云フ風ニシテ拜見致シマス、果シテ是ダケノ豫算デ、此目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、洵ニ寒心ニ堪ヘナイモノデアリマス、隨ヒマシテ此法ヲ完全ニ運用シテ、眞ニ國家ノ爲ニ一身ヲ捧グル迄ニ後顧ノ憂ヒヲ無カラシメル爲ニハ、尙ホ一段ノ御決心ト御努力ヲ要スルコトカト思フノデアリマス、此點ニ對シマシテ、本法ノ適用ヲ完全ナラシメルニ付キマシテ、將來ドレダケノ御決心ト御見込デアルカト云フコトヲ、陸海軍及ビ内務省當局ヨリ承リタイト思フノデアリマス

○廣瀨政府委員 此法律ニ付キマシテハ、制定當初カラ今日マデノ狀況ヲ顧ミマス、餘程社會情勢モ變ッテ居リマス、デ此途中デ改正ノ行ハレタ時等ニ於キマシテモ、相當ヤハリ救護費ノ増加ナドモ考ヘテ、サウシテ今日ニ至ッタノデアリマス、併シ尙ホ此委員會ニ於テ屢々御議論モアリマシテ、マダ十分デナイト云フ御意見モ洵ニ御尤モニ存ジマス、唯制定當初カラ今日マデ全然同ジヤウナ状態デアッタ譯デハナイノデアリマシテ、制定當初ヨリ餘程増シテ居ルヤウデアリマス、ソレニ又今回色々範圍ノ擴張ヲ致シマシタシ、或ハ又取扱ニ付キマシテモ、出來ルダケ能ク手厚ク取扱ヲ致シタイト云フ點カラモ考ヘマシテ、相當ナ増額ヲ致シタ積リデ居リマス、ト申シマスノハ、御承知ノヤウニ本豫算ハ、從來ハ二百八十万圓位ノモノデアリマシタノヲ、今回百三十万圓ダケ之ニ増加ヲ致スト云フコトニナッテ居リマス、是ハヤハリ二百八十万圓ニ對シマシテ、百三十万圓ダケ増加スルモノデアリマスカラ、ヤハリ相當ナコトハ考ヘタ積リデアリマスガ、併シ尙ホマダソレハ完全ナリト云フコトハ言ヘナイト思ヒマス、ケレドモ先ヅヤハリ此種ノ扶助費モ、ヤハリ國家ノ貴イ金デアリマスルカラ、先ヅ此邊

デ一應辛抱シテ貰フヨリ致方ガナイノデハ
ナイカト思ヒマス、唯併ナガラ此費目ハ御
承知ノヤウニ、補充費目ニモナッテ居リマス

カラ、足ラナイモノハ補充費目トシテ、豫
備金ノ要求ヲ致スト云フコトモ出來ル譯デ
アリマス、已ムヲ得ナイ場合ハサウ云フ風
ナ方法ヲ執ッテ、出來ルダケ足ラヌ所ヲ補ッ
テ行キタイト考ヘテ居リマス、併シ將來私
共ト致シマシテモ、此種ノ扶助ハ本當ニ軍
務ニ服スル者ヲシテ後顧ノ憂ナカラシムル
ヤウニ、出來ルダケノコトハ將來モ努力致
シマシテ、委員會ノ皆様ノ御希望ノアル所
ニ副ヒタイト云フ決心ヲ持ッテ居ル次第デ
アリマス

○山崎政府委員 陸軍ト致シマシテモ、軍
事扶助ヲ更ニ強化スルト云フ御趣旨ニ對シ
マシテハ、全然御同感デアリマシテ、今マ
デ相當努メテ參リマシテ、茲ニ此案ヲ見ル
ヤウニナッタノデゴザイマスガ、尙ホ之ヲ以
テ完全ナモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○八角委員 海軍ハ……
○川島委員長 海軍ノ政府委員ハ豫算ノ分
科ニ出テ居ルサウデアリマスカラ、後
デ……

○八角委員 只今ノ御答辯ヲ諒承致シマシ
タ、ドウカ此上トモ一段ノ御努力ヲ拂ハレ

ンコトヲ希望致シマス、是デ私ノ質問ハ終
リマス

○川島委員長 服部君、何か關聯シテノ質
問デアリマスカ、他ニ質問ノ通告ガ大分ア
リマスカ……

○服部委員 費用ニ直接ニ關聯シテデハア
リマセヌガ、全般ニ互ッテノ質問デス
○川島委員長 モウ少シ御待チヲ願ヒマ
ス——升田君、此際御質問ガアリマスカ

○升田委員 海軍大臣モ出テ戴キタイト思
ヒマス、大臣ガ出ナケレバ海軍次官……、
是ハ重大ナ問題デアリマスカラ、成タケ大
臣ニ出席シテ戴キタイト思ヒマス、ドウシ
テモ豫算分科ノ方ニ關係ガアレバ次官ニ
——ソレカラ補充費目デアルガ爲ニ、是ハ
吾々ノ考ト餘程原案作成者ノ考トハ違ッテ
居リマスカラ、此費用ノ點デ莫大ノ差ガア
ル、ソレデ補充費目デアルト云フコトデア
リマスカ、其點ニ付テハ大藏大臣ニ豫メ伺ッ
テ置キタイト思ヒマス、大藏省カラモ、ド
ナタカ出テ戴キタイト思ヒマス

○川島委員長 承知致シマシタ——齋藤
君、此際……

○齋藤委員 私ノ御尋致シタイノハ第五條
ノ「生活スルコト困難ナル者」此意味ヲ一
ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今御

話ガアリマシタ通り、豫算ガ思フヤウニナ
イノデアリマスカラ、ドウモ生活困難ナル
者ヲ全部扶助スルコトハ、私ハ出來ナイデ
ヤナイカト思ヒマス、中々此頃ノ農村ナド
ヲ見マシタナラバ、其半バ以上ハ生活困難
ナル者デヤナイカト思フ、生活困難ナル者
ト云フコトヲドウ云フ風ニ見テ居ラレル
カ、ソレヲ少シ御説明ヲ願ヒタイ

○廣瀬政府委員 先日來カラ此第五條ノ問
題ニ付テ、色々御質問ガアリマシテ、尙ホ
只今モ御質問ガアリマシタガ、此問題ニ付
キマシテ御心配ノ點、洵ニ御尤モ存ジマ
ス、此生活困難ナル者ト云フノハドウ云フ
意味デアルカト云フコトニ付テ、少シク各
方面ニ互リマシテ御説明ヲ申上ゲタイト思
ヒマス

先ヅ御話申上ゲタイトハ「生活スルコ
ト能ハザル者」ト云フノガ從來ノ規定デア
リマシタ、之ヲ今回ハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス
ガ、斯ウ云フ工合ニ改メマシタ理由ヲ申上
ゲマシテ、ソレカラ次ニ進ミタイト思ヒマ
スガ、從來此「生活スルコト能ハザル者」ト
規定サレテ居リマス、此點ニ付テハ升田
サンカラモ色々御話ガアリマシタガ、餘リ
嚴格ニ失シテ居ッテ、其爲ニドウモ扶助ガ徹

底シナイ憂ガ多カッタ、ソコデ之ヲ緩和スル
意味ヲ以テ、第一ニハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス、
ソレカラ次ニ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ致シマシタ理由ハ、扶助ヲ受ク
ベキ者ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコト、又
從來扶助ヲ受ケテ居ッテ者ニ對シマシテハ、
從來ニ比シテ給與額ヲ、幾分ナリトモ増シ
テ上ゲタイト云フコト、斯ウ云フ理由デ
生活困難ナル者ト云フコトニ改メタ譯デア
リマス、是ハ勿論理由ハ扶助ノ徹底ヲ期ス
ルト云フコトデアアルノデアリマス、然ラバ
一體「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者
ハドウシテ決メルカト云フト、是ハヤハリ
認定デ決メルヨリ致方ガナイノデアリマ
ス、申スマデモナク從來ノ「生活スルコト
能ハザル者」之ニ付キマシテモ、ヤハリ結
局認定デ決メルヨリ致方ガナイト思ヒマス
ガ、今回ノ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ付テモ、認定ヲ以テ決メルヨリ
致方ガナイ、ソコデ其認定ヲ致スニ付キマ
シテハ、一定ノ標準ヲ決メマシテ、サウシ
テ其標準ニ依リマシテ、其標準以下ノ生活
ヲシテ居ル者ハ生活困難ナ者ダ、斯ウ云フ
工合ニ認定ヲスルヨリ仕方ガナイト思ヒマ
ス、其認定ヲドウ下スカト云フコトニ付キ

話ガアリマシタ通り、豫算ガ思フヤウニナ
イノデアリマスカラ、ドウモ生活困難ナル
者ヲ全部扶助スルコトハ、私ハ出來ナイデ
ヤナイカト思ヒマス、中々此頃ノ農村ナド
ヲ見マシタナラバ、其半バ以上ハ生活困難
ナル者デヤナイカト思フ、生活困難ナル者
ト云フコトヲドウ云フ風ニ見テ居ラレル
カ、ソレヲ少シ御説明ヲ願ヒタイ

○廣瀬政府委員 先日來カラ此第五條ノ問
題ニ付テ、色々御質問ガアリマシテ、尙ホ
只今モ御質問ガアリマシタガ、此問題ニ付
キマシテ御心配ノ點、洵ニ御尤モ存ジマ
ス、此生活困難ナル者ト云フノハドウ云フ
意味デアルカト云フコトニ付テ、少シク各
方面ニ互リマシテ御説明ヲ申上ゲタイト思
ヒマス

先ヅ御話申上ゲタイトハ「生活スルコ
ト能ハザル者」ト云フノガ從來ノ規定デア
リマシタ、之ヲ今回ハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス
ガ、斯ウ云フ工合ニ改メマシタ理由ヲ申上
ゲマシテ、ソレカラ次ニ進ミタイト思ヒマ
スガ、從來此「生活スルコト能ハザル者」ト
規定サレテ居リマス、此點ニ付テハ升田
サンカラモ色々御話ガアリマシタガ、餘リ
嚴格ニ失シテ居ッテ、其爲ニドウモ扶助ガ徹

底シナイ憂ガ多カッタ、ソコデ之ヲ緩和スル
意味ヲ以テ、第一ニハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス、
ソレカラ次ニ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ致シマシタ理由ハ、扶助ヲ受ク
ベキ者ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコト、又
從來扶助ヲ受ケテ居ッテ者ニ對シマシテハ、
從來ニ比シテ給與額ヲ、幾分ナリトモ増シ
テ上ゲタイト云フコト、斯ウ云フ理由デ
生活困難ナル者ト云フコトニ改メタ譯デア
リマス、是ハ勿論理由ハ扶助ノ徹底ヲ期ス
ルト云フコトデアアルノデアリマス、然ラバ
一體「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者
ハドウシテ決メルカト云フト、是ハヤハリ
認定デ決メルヨリ致方ガナイノデアリマ
ス、申スマデモナク從來ノ「生活スルコト
能ハザル者」之ニ付キマシテモ、ヤハリ結
局認定デ決メルヨリ致方ガナイト思ヒマス
ガ、今回ノ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ付テモ、認定ヲ以テ決メルヨリ
致方ガナイ、ソコデ其認定ヲ致スニ付キマ
シテハ、一定ノ標準ヲ決メマシテ、サウシ
テ其標準ニ依リマシテ、其標準以下ノ生活
ヲシテ居ル者ハ生活困難ナ者ダ、斯ウ云フ
工合ニ認定ヲスルヨリ仕方ガナイト思ヒマ
ス、其認定ヲドウ下スカト云フコトニ付キ

底シナイ憂ガ多カッタ、ソコデ之ヲ緩和スル
意味ヲ以テ、第一ニハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス、
ソレカラ次ニ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ致シマシタ理由ハ、扶助ヲ受ク
ベキ者ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコト、又
從來扶助ヲ受ケテ居ッテ者ニ對シマシテハ、
從來ニ比シテ給與額ヲ、幾分ナリトモ増シ
テ上ゲタイト云フコト、斯ウ云フ理由デ
生活困難ナル者ト云フコトニ改メタ譯デア
リマス、是ハ勿論理由ハ扶助ノ徹底ヲ期ス
ルト云フコトデアアルノデアリマス、然ラバ
一體「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者
ハドウシテ決メルカト云フト、是ハヤハリ
認定デ決メルヨリ致方ガナイノデアリマ
ス、申スマデモナク從來ノ「生活スルコト
能ハザル者」之ニ付キマシテモ、ヤハリ結
局認定デ決メルヨリ致方ガナイト思ヒマス
ガ、今回ノ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ付テモ、認定ヲ以テ決メルヨリ
致方ガナイ、ソコデ其認定ヲ致スニ付キマ
シテハ、一定ノ標準ヲ決メマシテ、サウシ
テ其標準ニ依リマシテ、其標準以下ノ生活
ヲシテ居ル者ハ生活困難ナ者ダ、斯ウ云フ
工合ニ認定ヲスルヨリ仕方ガナイト思ヒマ
ス、其認定ヲドウ下スカト云フコトニ付キ

底シナイ憂ガ多カッタ、ソコデ之ヲ緩和スル
意味ヲ以テ、第一ニハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス、
ソレカラ次ニ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ致シマシタ理由ハ、扶助ヲ受ク
ベキ者ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコト、又
從來扶助ヲ受ケテ居ッテ者ニ對シマシテハ、
從來ニ比シテ給與額ヲ、幾分ナリトモ増シ
テ上ゲタイト云フコト、斯ウ云フ理由デ
生活困難ナル者ト云フコトニ改メタ譯デア
リマス、是ハ勿論理由ハ扶助ノ徹底ヲ期ス
ルト云フコトデアアルノデアリマス、然ラバ
一體「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者
ハドウシテ決メルカト云フト、是ハヤハリ
認定デ決メルヨリ致方ガナイノデアリマ
ス、申スマデモナク從來ノ「生活スルコト
能ハザル者」之ニ付キマシテモ、ヤハリ結
局認定デ決メルヨリ致方ガナイト思ヒマス
ガ、今回ノ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ付テモ、認定ヲ以テ決メルヨリ
致方ガナイ、ソコデ其認定ヲ致スニ付キマ
シテハ、一定ノ標準ヲ決メマシテ、サウシ
テ其標準ニ依リマシテ、其標準以下ノ生活
ヲシテ居ル者ハ生活困難ナ者ダ、斯ウ云フ
工合ニ認定ヲスルヨリ仕方ガナイト思ヒマ
ス、其認定ヲドウ下スカト云フコトニ付キ

底シナイ憂ガ多カッタ、ソコデ之ヲ緩和スル
意味ヲ以テ、第一ニハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス、
ソレカラ次ニ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ致シマシタ理由ハ、扶助ヲ受ク
ベキ者ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコト、又
從來扶助ヲ受ケテ居ッテ者ニ對シマシテハ、
從來ニ比シテ給與額ヲ、幾分ナリトモ増シ
テ上ゲタイト云フコト、斯ウ云フ理由デ
生活困難ナル者ト云フコトニ改メタ譯デア
リマス、是ハ勿論理由ハ扶助ノ徹底ヲ期ス
ルト云フコトデアアルノデアリマス、然ラバ
一體「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者
ハドウシテ決メルカト云フト、是ハヤハリ
認定デ決メルヨリ致方ガナイノデアリマ
ス、申スマデモナク從來ノ「生活スルコト
能ハザル者」之ニ付キマシテモ、ヤハリ結
局認定デ決メルヨリ致方ガナイト思ヒマス
ガ、今回ノ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ付テモ、認定ヲ以テ決メルヨリ
致方ガナイ、ソコデ其認定ヲ致スニ付キマ
シテハ、一定ノ標準ヲ決メマシテ、サウシ
テ其標準ニ依リマシテ、其標準以下ノ生活
ヲシテ居ル者ハ生活困難ナ者ダ、斯ウ云フ
工合ニ認定ヲスルヨリ仕方ガナイト思ヒマ
ス、其認定ヲドウ下スカト云フコトニ付キ

底シナイ憂ガ多カッタ、ソコデ之ヲ緩和スル
意味ヲ以テ、第一ニハ「生活スルコト困難
ナル者」ト云フコトニ改メタ譯デアリマス、
ソレカラ次ニ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ致シマシタ理由ハ、扶助ヲ受ク
ベキ者ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコト、又
從來扶助ヲ受ケテ居ッテ者ニ對シマシテハ、
從來ニ比シテ給與額ヲ、幾分ナリトモ増シ
テ上ゲタイト云フコト、斯ウ云フ理由デ
生活困難ナル者ト云フコトニ改メタ譯デア
リマス、是ハ勿論理由ハ扶助ノ徹底ヲ期ス
ルト云フコトデアアルノデアリマス、然ラバ
一體「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者
ハドウシテ決メルカト云フト、是ハヤハリ
認定デ決メルヨリ致方ガナイノデアリマ
ス、申スマデモナク從來ノ「生活スルコト
能ハザル者」之ニ付キマシテモ、ヤハリ結
局認定デ決メルヨリ致方ガナイト思ヒマス
ガ、今回ノ「生活スルコト困難ナル者」ト
云フコトニ付テモ、認定ヲ以テ決メルヨリ
致方ガナイ、ソコデ其認定ヲ致スニ付キマ
シテハ、一定ノ標準ヲ決メマシテ、サウシ
テ其標準ニ依リマシテ、其標準以下ノ生活
ヲシテ居ル者ハ生活困難ナ者ダ、斯ウ云フ
工合ニ認定ヲスルヨリ仕方ガナイト思ヒマ
ス、其認定ヲドウ下スカト云フコトニ付キ

マシテハ——尙ホ申上ゲマスガ、其認定ヲ下スニハ一定ノ標準ヲ設ケ、其標準以下ノ生活ヲ爲シテ居ル者ハ生活困難ナ者トスルノダト云フヨリ外ニ、方法ガナイノデアリマシテ、其コトハ從來ノ生活スルコト能ハザル者ニ付テモ、ヤハリ一定ノ標準ヲ附ケテ、認定ヲ致シテ居ラタ譯デアリマスガ、今回モソレト同ジコトニナルト思ヒマス、御承知ノヤウニ從來ノ規定ニ依リマス、施行令ニ於キマシテハ「生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十錢以内」トナツテ居リマス、シテ見マス、從來ハ三十錢以内ノ收入ノ人デアラナラバ、ソレハ生活ガ出來ナカタ、生活スルコト能ハザル者デアルト云フ工合ニ、從來ハ見テ來タ譯デアリマス、ソコデ今回ハ之ヲ改メマシテ、今ノ見込ト致シマシテハ三十五錢以内ニ改メマシテ、三十五錢以内ノ者ハ生活困難ナ者、斯ウ云フ認定ヲ下シテ行カウト云フノデアリマス、併ナガラ特別ノ必要アル場合、例ヘバ都會地等ニ於テ、大都市等ニ於テ物價ノ高イト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、三十錢以上デモ知事ガ内務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ、サウシテ一圓五十錢程度迄ニ増シ得ルヤウニシヨウ、斯ウ云フノデアリマス、斯ウ云フ一ツノ標準ヲ設ケマシテ、サウシ

テ其人ノ收入ガ三十五錢ニ充タナイト云フヤウナ場合ニハ、是ハ生活困難ナル者ト見テ、之ヲ扶助スル、尙ホ特別ノ必要アル場合ニ於テハ、知事ガ認可ヲ受ケテ五十錢程度迄増シ得ルト云フコトニ致シテ、サウシテ生活困難ナ者ノ認定ヲ致シテ行キタイト思ッテ居リマス、勿論此點ニ付キマシテハ三十五錢ハ不十分ダト云フ御議論モアラウト思ヒマスガ、併ナガラヤハリ扶助ノコトデアリマシテ、餘リ濫ニ流レルコトハ如何カト思ヒマスカラ、先ヅ一人三十五錢以内ト云フコトヲ一應ノ原則トシ、サウシテ必要已ムヲ得ザル場合ニ於テハ、五十錢迄増シ得ルト云フ程度迄行キタイト思ヒマス、之ニ付テハ不十分ダト云フ御懸念モアルダラウト思ヒマスガ、一應先ヅ——是デ辛抱シテ戴クト云フ積リデ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ、是ハ例トシテ引クノハ如何カト思ヒマスガ、救護法ナドニ於キマシテハ二十五錢ヲ以テ先ヅ標準ト致シテ居リマスガ、今回ノ軍事扶助法ノ方ハ、貧民ノ救濟ト云フ建前デハナイカラ三十五錢ト云フコトニ致シテ、其三十五錢未滿ノ收入ノ者ハ、之ヲ扶助スルト云フ建前デ行キタイト思ッテ居リマス、以上ノヤウナ趣旨ニ依ッテ生活困難ナル者ト云フコトニ改メテ、ソ

レ等生活困難ナル者ノ標準ハ、以上ノヤウナ認定標準ヲ用ヒテ認定ヲ致シマシテ、サウシテ扶助ノ實ヲ擧ゲタイ、斯ウ思ッテ居リマス

○川島委員長

一寸、海軍次官ガ御見エニナリマシタガ、海軍省ハ今豫算分科ニ關係ガアリマスノデ、此際海軍省ノ政府委員ニ御質問ノアル方ハ、先ニ願ヒタイト思ヒマス

○松本委員 私ハ先日本會議ニ於キマシテ質問中ニアリマシタ所ノ昭和七年六月一日佐世保海兵團ニ入團シ、中途肋膜炎ニ胃サレ、遂ニ昭和十年三月佐世保海軍病院ヨリ兵役免除トナツタ私ノ郷里福岡ノ堺君ノ語ル所ニ依リマスルト、同病院カラハ毎日一人宛疾病ニ因ル兵役免除者ヲ出シテ居ルガ、同君ノ除役セラレ、時ナドハ、一度ニ四十名位除役ニナツタ、病名ノ主ナルモノハ肺、肋膜炎、心臟等デアリマシテ、是等ノ多クハ家庭ニ歸リマシヤ、遅カレ早カレ殆ド死ンデ居ルト云フヤウナ有様デアアル、堺君ノ話ニ依リマスルト、入院中懇意ニナツテ居ッタ患者九名ニ對シテ、昨年ノ夏見舞狀ヲ出シタ處、其家族又ハ本人ノ返事ノ來マシタモノガ六名デアリマシテ、中二名ガ生存シテ、残りノ四名ハ死ンデ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、サウ云フ工合デアリマ

スルカラ、第十四條ノ三箇月内ト云フ規定ハ、ドウ考ヘマシテモ不十分デアリマス、是非トモハ傷病ガ治癒スルマデ扶助ヲ繼續スルベキデアルト考ヘルノデアリマスガ、當局ハ如何ナル御考デアリマスカ、御所見ヲ御伺スルノデアリマス

○山本政府委員

只今ノ海軍ノ傷病兵ノ非常ニ悲惨ナル狀況ハ、只今松本サンカラ御述ニナツタト同様ダト私ハ考ヘテ居リマス、サウシテ此點ハ如何ニモシテ氣ノ毒デアアルカラシテ、救護シナケレバイカヌト云フコトデ、今度ノ此法律案ニ依レバ、其點ハ改善サレテ居ルヤウニ心得テ居リマスガ、ソレハ専門ノ方デ説明ラシテ戴キマス、尙ホ此法案ニ依ッテ救護サレルノミナラス、海軍自體ニ於キマシテモ、今ハ置ケルダケ海軍病院ニ收容シテ居リマスケレドモ、其收容力ガ足ラナイ爲ニ、已ムヲ得ズ氣ノ毒ナガラ順々ニ出シテヤルト云フヤウナ狀況デ、是ハドウシテモ救ハナケレバイカヌト云フノデ、海軍自體トシテモ是ガ救護ノ方法ヲヤル爲ニ、病院ノ擴張其他ヲ出來ルダケヤラウトシテ、今年度モソレニ向ッテ進ンデ居リマス、尙ホ此救護ノ方ニ關シマシテハ專門ノ方カラ御説明ラシテ戴キマス

○山崎政府委員 只今松本サンカラ御質問

ノアリマシタ點ハ、今度ノ改正ノ一ツノ眼
目デゴザイマシテ、第二條ノ第二號ヲ御覽
願ヒタイト思フノデアリマスガ、來ハ第
一條第二條ヲ通ジマシテ、病氣ノ場合デゴ
ザイマスト、公務ノ爲ノ病氣カ、或ハ戰時
ニ於ケル病氣カ、ソレニ限定ヲサレテ居
タノデアリマス、今度ノ改正ニ依リマス
ト、現役中又ハ應召中ニ病氣ニ罹ツタ、只今御話
ノヤウナ結核或ハ肋膜炎、或ハ心臟病ニ罹
タ、其爲ニ兵役ヲ免除サレタト云フ場合ニ
ハ、本人ハ今度改正ニ依リマシテ、當然ニ
本法ニ依ッテ救護サレルコトニナルノデア
リマス、尙ホ又本人ノ家族ニ於キマシテ
モ、本法ノ適用ヲ受ケルコトニナルノデア
リマシテ、此點ハ今回ノ改正ノ一ツノ眼目
ダト申シテ宜シイカト考ヘマス

○松本委員 除役ニナリマス、其多クハ
死亡スルト云フヤウナ有様デスカラ、ソ
ナ重態ニナラナイ前ニ現役免除トカ、又ハ
無期歸休トカノ名ニ依ッテ治療費、生活費ヲ
附ケテ、健康回復マデ歸ヘス規定ヲ設ケラ
レル意思ガアリマセヌカ

○山脇政府委員 陸軍ノ現状ヲ説明員ニ説
明サセルコトニシマス

○小林陸軍歩兵中佐 只今御心配ニナツ
點ニ付キマシテハ、色々ト研究致シマシ

テ、兵方隊ニ入りマシタ爲ニ病氣ニ罹ッテ
除隊ヲ致シマスヤウナ時ニハ、何トカシテ
一時賜金デモヤリタイト云フコトヲ考ヘマ
シテ、實ハ本年度豫算ニ計上シタイ位マデ
考ヘテ居ツタノデゴザイマスガ、マダ準備ガ
到達出來マセヌデゴザイマシタガ、明年度
ニハ是非サウ云フ風ニヤリタイト思ッテ、只
今研究中デゴザイマス

○松本委員 是ハ私等ノ獨特ノ立場カラデ
アリマスルガ、先年ハ陸軍内部ニ於テ非常
ニ差別ガ多クカッタ、其爲ニ所謂福岡聯隊事件
ナルモノガ起サレタ、所ガ其後私ノ所ニ海
軍ノ方カラ、常ニ報告ヲ受ケルノデアリマ
スガ、艦内ニ於テ差別ガ酷イ、陸ノ差別ハ
早速連絡ガ取レマスルガ、海軍内ノ差別ハ
ドウシテモ連絡ガ取リニクイ、或時ノ如キ
ハ寧ロ其艦ト共ニ海ノ底ニ沈ンデ行キタイ
ト云フヤウナ感ジヲ持タセラル、コトガ多
多アルト云フノデス、今後海軍當局ニ於カ
レマシテモ、サウ云フ事ノナイヤウニ御努
メナラル、御意思ガアルカドウカ

○山本政府委員 御答シマス、只今ノ問題
ハ海軍ト致シマシテハ非常ニ之ヲ慎重ニ取
扱ヒマシテ、實ハ兵員ノ仲間ニハ、其特殊
ノ差別ガアルコトヲ知ラセナイヤウニ極力
ヤルト同時ニ、之ヲ實際指導スル分隊長、

副長、艦長等ハ、其特別ノ人間ニ對シテ、
他ノ兵員ガドウ云フ態度デ接シテ居ルカ、
又本人ハドウ云フ氣持デ居ルドラウカト云
フヤウナコトニ對シテ仔細ニ注意ヲシテ、
少シデモ本人ニ差別ヲ與ヘル、不愉快ヲ感
ジサセルト云フヤウナコトニ對シテハ、嚴
ニ之ヲ戒メルト云フヤウナ指導精神ヲ以テ
ヤッテ居リマスノガ、私自身ノ永イ間ノ體驗
デアリマシテ、私ガ經驗シタ範圍ニ於テハ、
其點ハ決シテサウ云フ報告ヲサセルヤウナ
コトハナカッタト考ヘテ居リマスガ、全部ノ
事實ニ於テ尙ホサウ云フ事ガアリト致シマ
スナラバ、此點ニ對シテハ此上トモ十分注
意シテ、全然ノ無差別ニスルト云フ風ニ努
力シタイト考ヘテ居リマス

○川島委員長 松本君、宜シウゴザイマスカ
○松本委員 宜シウゴザイマス——ドウゾ
サウ云フコトノナイヤウニ、私等ハ糾彈ス
ルコトヲ目的トスルノデヤナクテ、差別ヲ
無クスル爲ニ此運動ヲヤッテ居ルノデアリ
マス、ドウゾ國民ノ義務トシテ其義務ヲ果
シニ行ク、其艦内ニ於テ差別ヲ受クル位酷
イモノハナイノデス、同ジ國民トシテノ義
務心、又協同精神其モノガ力デアアル所ノ軍
隊ニ於テ、差別ヲサレル者トスル者トアル
ト云フコトハ、協同動作ヲスルト云フ點ノ

上カラシテ非常ニ惡イ事ト思ヒマス、ドウ
ゾ其點ハ今後十分御注意下サイマシテ、差
別ノナイヤウニ御願ヲスルノデアリマス

○山本政府委員 極メテ御同感デアリマシ
テ、是非サウ云フ風ニシナケレバナラス、
又シタイモノト考ヘテ居リマス

○川島委員長 前田君ハ海軍省ノ政府委員
ニハゴザイマセヌカ

○前田委員 アリマセヌ

○川島委員長 升田君、海軍關係ノ事ダ
ケ……

○升田委員 私ハ過日海軍次官ニ御伺シテ
置キマシタ名稱ノコトデアリマスガ、此扶
助ト云フ名稱ニ付テハ滿腔ノ御同意ニナツ
居ルコトデアリマスガ、若シ御同意ニナツ
居ルトスレバ其事由ヲ説明シテ戴キタイ、
唯徒ニ曲辯ヲシテ辯護スルト云フヤウナ考
ハナイト思ヒマスガ、是ハ豫メ御答辯ニ先
立テ申上ゲマスルガ、此名稱ニ付テ從來救
護トカ扶助ト云フ言葉ヲ用ヒテ居ルト云フ
コトニ付テハ、非常ナ非難ガアルノデス、
是ハ十分御研究ニナツテ居ルコトト思ヒマ
スルケレドモ、過日政府委員ノ御話ニ依レ
バ、陸海軍トモ相談シタ結果云々ト云フコ
トデアリマシタガ、果シテドノ程度マデ御
理解ニナツテサウ云フコトヲ同意サレタノ

ト云フコトハ、協同動作ヲスルト云フ點ノ

カト云フコトヲ伺ヒタイノデス、兎ニ角此名稱ニ付テハ非常ナル反對ノアルト云フコトハ、過日來屢々本員バカリデナシニ、他ノ諸君モ御質問ノ中ニ述ベテ居ラレルノデアリマス、最近扶助ニ關スル協定書ナント云フモノガ出テ、之ニハ陸海軍省モ參加シテ居ラレルノデアリマスケレドモ、是ガ根本ノ誤リデアルト云フコトハ、過日モ私ハ申上ゲタ、之ヲ一般扶助ト混同シテ、慈善團體ニ扱ハシメルト云フコトハ、非常ニ誤ッテ思想デアルト云フコトヲ申上ゲテアリマスカラ、其點ヲ十分分ルヤウニ御答ヲ願ヒタイ

○山脇政府委員 只今ノ御質問ノ名稱ノ問題ハ、海軍次官カラモ言ハレマシタヤウニ、内務省ト慎重ニ協議ヲ致シマシテ、是ガ適當ダラウト云フ結論ニ達シタモノデゴザイマス、其理由ハ大體今マデ内務省側カラノ御説明デ盡キテ居ルト思ヒマシタガ、尙ホ申上ゲマス、第一ハ名稱ト致シマシテ内容ヲ或ル程度マデ現ハスト云フ目的デゴザイマシテ、本法ニ於キマシテハ生活扶助、生業扶助等ニ付キマシテ傷病兵及ビ其家族遺族竝ニ下士官兵ノ家族遺族ヲ扶助スルト云フ建前ニナツテ居リマス、又扶助ト云フ言葉ハ恩給法又ハ工場法等ニ於キマシテ、扶助料ト申シテ居リマシヤウニ、恩惠的或ハ救濟的ノ感ジガ薄ウゴザイマシテ、殊ニ恩給法ノ扶助料ニ於キマシテハ人ニ依ッテハ全ク救濟的ノ觀念ノナイ場合モアルノデゴザイマシテ、是等ノ點カラ考ヘテ見マシテ、扶助ト云フ字ヲ用ユル方ガ適當ト考ヘルノデゴザイマス、保護ト云フ言葉ニ致シマスルト、其意味ノ範圍ガ非常ニ廣ウゴザイマシテ、漠然トシテ居ッテ、軍事保護法ナル名稱ダケデハ、其内容ガハッキリ分ラヌト云フヤウナコトモ考ヘマシテ、軍事扶助法ト云フヲ適當トシタノデゴザイマス

次ハ是ハ前回ニヤハリ此事ヲ仰セニナツタヤウニ思ヒマシタガ、外ノ法令ト混同セラレル虞レノナイ方ガ宜シイノデゴザイマスカラ、現在アリマス軍機保護法ナル法律ト混同スル虞レノナイヤウニト云フ一ツノ理由デ、又此名前ヲ選ンダノデゴザイマス、次ハ軍事扶助ナル言葉ハ此種ノ事業ニモ現在使用セラレテ居リマシテ、相當普及シテ居ルノデゴザイマス、是ハ申ス迄モナク軍事扶助中央委員會ニ於キマシテモ、亦地方ノ會ヲ組織シテ居リマス帝國軍人後援會、奉公會、或ハ恤兵會、義濟會、愛國婦人會、國防婦人會等ニ於キマシテモ、各、此事業ハ之ヲ軍事扶助事業ト呼ンデ居ルノデアリマシテ、現在ニ於キマシテハ此用語ガ相當一般ニ普及セラレテ居ルト云フコトモ考ヘマシテ、扶助ト云フ言葉ヲ適當トシタ次第デゴザイマス

○升田委員 一寸申上ゲマシタガ、只今ノ御答ノ内容ノ中ニ扶助ト云フヤウナ文字ガ澤山アルカラ、ヤハリ其内容ト一致スル爲ニ扶助トヤッタラドウカト云フ御考デアアル、斯ウ云フヤウニ伺ッタノデアリマスガ、是ガ惡イカラ唯名稱バカリデナク、内容ニモヤハリ扶助ト云フ文字ヲ換ヘルノデス、是ハ本法改正案ニ於キマシテモ救護ト云フコトヲ全部ワザ／＼扶助ト云フコトニスルノデスカラ、ソレガ宜クナイ、内部ニ扶助ト云フ文字モ澤山アリマス、施行令ナドニモアリマスガ、ソレガ惡イカラ此扶助ト云フ名稱ヲ用ヒナイデ外ノ名稱ヲ用ヒタラドウカ、斯ウ申上ゲタノデスガ、ソノ點ハドウモ十分御答ニナツテ居ナイヤウデス、ソレカラ恩給法ノコトヲ引例サレマシタケレドモ、本員ガ何故名稱ヲソナニ氣ニ懸ケテ居ルノカト申シマスルト云フト、是ガ御助ケト云フコトニナレバ工合ガ惡イ、過日モ申シマシタヤウナ兵事議會デアルトカ、或ハ愛國婦人會ノヤウニ贈呈トカ慰問トカ云フヤウナ意味ニ依ッテ與ヘラレルナラバ潔ク取ルケレドモ、之ヲ扶助ト云フコトデ願出デテ御助ケヲ願フ、殊ニ現行法ガ一般ノ救護法ガ最近名稱ガ變ッテ來テ、此軍事救護法ト混同サレルヤウニナツテ一層貧民救助ト云フヤウナ考ヲ起ス、ソレガ爲ニサウ云フ御助ケナラバ御斷リスルト云フノデ、當然救フベクシテ救ハレヌ者ガ非常ニ多數ニアル、デアリマスカラ此名稱ヲ廢シテ、サウデナイ保護トハ言ヒマセヌ、慰問デモ慰藉デモ何デモ宜イ、要スルニサウ云フ御助ケト云フ考ヲ持タヌデ或ル意味ニ於テハ權利トシテ要求ガ出來ル、國家ハ

○升田委員 ソレデヤ陸軍カラ願ヒマス
○川島委員長 海軍省ニ對スル御質問ハモウゴザイマセヌカ
○升田委員 マダアリマスガ、一ツツ、ヤリタイ——併シ實際陸軍ト御話合ニナツテ居ルカラ、其點ハ陸軍ニ讓ルト云フコトデアリマスレバ、陸軍次官ノ御出デニナツタ時ニ併セテ御伺シテモ宜イト思ヒマス
○川島委員長 御答辯ガアルサウデス

○升田委員 一寸申上ゲマシタガ、只今ノ御答ノ内容ノ中ニ扶助ト云フヤウナ文字ガ澤山アルカラ、ヤハリ其内容ト一致スル爲ニ扶助トヤッタラドウカト云フ御考デアアル、斯ウ云フヤウニ伺ッタノデアリマスガ、是ガ惡イカラ唯名稱バカリデナク、内容ニモヤハリ扶助ト云フ文字ヲ換ヘルノデス、是ハ本法改正案ニ於キマシテモ救護ト云フコトヲ全部ワザ／＼扶助ト云フコトニスルノデスカラ、ソレガ宜クナイ、内部ニ扶助ト云フ文字モ澤山アリマス、施行令ナドニモアリマスガ、ソレガ惡イカラ此扶助ト云フ名稱ヲ用ヒナイデ外ノ名稱ヲ用ヒタラドウカ、斯ウ申上ゲタノデスガ、ソノ點ハドウモ十分御答ニナツテ居ナイヤウデス、ソレカラ恩給法ノコトヲ引例サレマシタケレドモ、本員ガ何故名稱ヲソナニ氣ニ懸ケテ居ルノカト申シマスルト云フト、是ガ御助ケト云フコトニナレバ工合ガ惡イ、過日モ申シマシタヤウナ兵事議會デアルトカ、或ハ愛國婦人會ノヤウニ贈呈トカ慰問トカ云フヤウナ意味ニ依ッテ與ヘラレルナラバ潔ク取ルケレドモ、之ヲ扶助ト云フコトデ願出デテ御助ケヲ願フ、殊ニ現行法ガ一般ノ救護法ガ最近名稱ガ變ッテ來テ、此軍事救護法ト混同サレルヤウニナツテ一層貧民救助ト云フヤウナ考ヲ起ス、ソレガ爲ニサウ云フ御助ケナラバ御斷リスルト云フノデ、當然救フベクシテ救ハレヌ者ガ非常ニ多數ニアル、デアリマスカラ此名稱ヲ廢シテ、サウデナイ保護トハ言ヒマセヌ、慰問デモ慰藉デモ何デモ宜イ、要スルニサウ云フ御助ケト云フ考ヲ持タヌデ或ル意味ニ於テハ權利トシテ要求ガ出來ル、國家ハ

○升田委員 一寸申上ゲマシタガ、只今ノ御答ノ内容ノ中ニ扶助ト云フヤウナ文字ガ澤山アルカラ、ヤハリ其内容ト一致スル爲ニ扶助トヤッタラドウカト云フ御考デアアル、斯ウ云フヤウニ伺ッタノデアリマスガ、是ガ惡イカラ唯名稱バカリデナク、内容ニモヤハリ扶助ト云フ文字ヲ換ヘルノデス、是ハ本法改正案ニ於キマシテモ救護ト云フコトヲ全部ワザ／＼扶助ト云フコトニスルノデスカラ、ソレガ宜クナイ、内部ニ扶助ト云フ文字モ澤山アリマス、施行令ナドニモアリマスガ、ソレガ惡イカラ此扶助ト云フ名稱ヲ用ヒナイデ外ノ名稱ヲ用ヒタラドウカ、斯ウ申上ゲタノデスガ、ソノ點ハドウモ十分御答ニナツテ居ナイヤウデス、ソレカラ恩給法ノコトヲ引例サレマシタケレドモ、本員ガ何故名稱ヲソナニ氣ニ懸ケテ居ルノカト申シマスルト云フト、是ガ御助ケト云フコトニナレバ工合ガ惡イ、過日モ申シマシタヤウナ兵事議會デアルトカ、或ハ愛國婦人會ノヤウニ贈呈トカ慰問トカ云フヤウナ意味ニ依ッテ與ヘラレルナラバ潔ク取ルケレドモ、之ヲ扶助ト云フコトデ願出デテ御助ケヲ願フ、殊ニ現行法ガ一般ノ救護法ガ最近名稱ガ變ッテ來テ、此軍事救護法ト混同サレルヤウニナツテ一層貧民救助ト云フヤウナ考ヲ起ス、ソレガ爲ニサウ云フ御助ケナラバ御斷リスルト云フノデ、當然救フベクシテ救ハレヌ者ガ非常ニ多數ニアル、デアリマスカラ此名稱ヲ廢シテ、サウデナイ保護トハ言ヒマセヌ、慰問デモ慰藉デモ何デモ宜イ、要スルニサウ云フ御助ケト云フ考ヲ持タヌデ或ル意味ニ於テハ權利トシテ要求ガ出來ル、國家ハ

○升田委員 一寸申上ゲマシタガ、只今ノ御答ノ内容ノ中ニ扶助ト云フヤウナ文字ガ澤山アルカラ、ヤハリ其内容ト一致スル爲ニ扶助トヤッタラドウカト云フ御考デアアル、斯ウ云フヤウニ伺ッタノデアリマスガ、是ガ惡イカラ唯名稱バカリデナク、内容ニモヤハリ扶助ト云フ文字ヲ換ヘルノデス、是ハ本法改正案ニ於キマシテモ救護ト云フコトヲ全部ワザ／＼扶助ト云フコトニスルノデスカラ、ソレガ宜クナイ、内部ニ扶助ト云フ文字モ澤山アリマス、施行令ナドニモアリマスガ、ソレガ惡イカラ此扶助ト云フ名稱ヲ用ヒナイデ外ノ名稱ヲ用ヒタラドウカ、斯ウ申上ゲタノデスガ、ソノ點ハドウモ十分御答ニナツテ居ナイヤウデス、ソレカラ恩給法ノコトヲ引例サレマシタケレドモ、本員ガ何故名稱ヲソナニ氣ニ懸ケテ居ルノカト申シマスルト云フト、是ガ御助ケト云フコトニナレバ工合ガ惡イ、過日モ申シマシタヤウナ兵事議會デアルトカ、或ハ愛國婦人會ノヤウニ贈呈トカ慰問トカ云フヤウナ意味ニ依ッテ與ヘラレルナラバ潔ク取ルケレドモ、之ヲ扶助ト云フコトデ願出デテ御助ケヲ願フ、殊ニ現行法ガ一般ノ救護法ガ最近名稱ガ變ッテ來テ、此軍事救護法ト混同サレルヤウニナツテ一層貧民救助ト云フヤウナ考ヲ起ス、ソレガ爲ニサウ云フ御助ケナラバ御斷リスルト云フノデ、當然救フベクシテ救ハレヌ者ガ非常ニ多數ニアル、デアリマスカラ此名稱ヲ廢シテ、サウデナイ保護トハ言ヒマセヌ、慰問デモ慰藉デモ何デモ宜イ、要スルニサウ云フ御助ケト云フ考ヲ持タヌデ或ル意味ニ於テハ權利トシテ要求ガ出來ル、國家ハ

義務トシテ之ヲ救フノデアルト云フヤウナ考ヲ持タシタイト、斯ウ云フノデアリマス、所ガ其恩給法ナルモノニハ、チャント立派ニ權利ヲ有スト書イテアル、ソレデスカラ

何モ之ニ拘泥シテ必ズ扶助ニシナケレバナラスト云フコトハ、ドウモ其理由ガナイト思フ

云フ文字ガ慣用サレテ來タ、ソレデ此際之ヲ一掃スレバサウ云フモノモヤハリ附イテ變テ來ル、サウ云フコトデ扶助ト云フコト

問ニ於テ現ハレテ居リマスガ、委員外ノ議員トシテモ、此點ニ付テハ吾々ノ意見ニ非常ニ贊同シテ居ル者ガ多イノデアリマスルカラ、願クハ其御協議ニ於テ、餘リニソレ

是ハ何ト書イテモ權利デアアル、一ツノ權利ヲ行使スルノデアアル、大威張デドンノ之ヲ請求シ得ル、デアリマスカラ、恩給法ニ

ソレカラ先程保護法ト云フコトガ出マシタガ、是ハ私ガ出シマシタノニ保護法トアルカラ、サウ云フ御答ガアッタノデアリマセ

今ノ御答辯ニ對シテハ、私ハ一カラ五マデ悉クドウモ首肯サレル所ノ御答ヂヤナイト

私ハ思フノデアリマス、ソレヲ一ツ御勸告致シテ置キマス——次ニ御伺シタイノハ、

扶助ト云フコトヲ書イテモ決シテ之ヲ御助ケノ恩惠トハ誰モ思ハナイ、チャント權利ト云フコトヲ立派ニ書イテアルカラ、是ハ

ウガ、私ハ保護法ト云フコトヲ何モ固執致シマセヌ、固執スル譯デハナイガ、保護法ト云フ名稱ヲ附ケテ、例ヘバ具體的ニ傷病

ガ適當ナル言葉ガ他ニアッタナラバ即チ何人ガ見テモ、其方ガ良イト云フヤウナ言葉

致シテ置キマス——次ニ御伺シタイノハ、第五條ノ事ニ付テ、先程モ委員ノ中カラ質

何人モ怪シマヌ所デアリマス、併ナガラ此恩給法ノ如キモ必シモ扶助ト云フ文字ガ好

ケレバナラスト云フコトハ決シテ申上ゲナイ、成程軍事保護法デハ内容モ漠然トシテ

固執ナサラヌノデアリマスガ、今ノ所デハ是ヨリ以上ノ良イ名稱ハナイト云フ御考デアリマスガ、ソレヲ御伺致シマス

ハ、十一万三千九百三人ト云フ一人當リノ金額ハ幾ラデスカ、山崎政府委員ニ御伺致シマス

イ文字カドウカト云フコトニ付テハ私ハ大イニ疑問ヲ持ツテ居リマス、斯ウ云フモノモ

居ッテドウモハッキリ分ラストカ、或ハ又軍機保護法ニ似通ッタ名稱デアルカラ、混同ヲ

避ケル爲ニ保護法ハ面白クナイト云フナラバ、ソレハ必シモ固執スルモノデハナイ、

○山崎政府委員 七圓二十五錢デス

宜シク扶助ト云フ名前ヲ改メテ、他ノ名前ニシタ方ガ宜イト思フ、法律ニ立派ニ權利

デアルト明記シテアル以上、コンナ官吏遺族扶助料トカ軍人遺族扶助料トカ云フヤウナ

方面ト研究シマシタ結果、是ガ一番適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、各方面カラ見マ

○山崎政府委員 只今ノ一万一千三百九十人ノ分ガ七圓二十五錢デアリマス、ソレカラ十一万三千九百三人ノ分ガ二圓五十錢デアリマス

イト思フ、併ナガラ是ハ今強ヒテ變ヘナクッタッデ、チャント權利ト云フコトガ書イテアルノデアアルカラ、ソレハ差支ナイ、所ガ軍

シテ居ルカラト云フコトデサガ、ソレハ何故デアアルカト云フト、法規ニモアリマス、諸團體ノ定款其他ノ規約ニモサウ云フコトガ

救護法ト云フモノヲ基礎ニシテ、サウ云フ文字ヲ使ッタノデアリマシテ、初カラサウ云フ文字ヲ使用シテ居ナイ、全ク軍事救護法

○山崎政府委員 其通りデゴザイマス

軍人遺家族デ此名稱ニ拘泥シテ救ハレス者ガ多數アルカラ、之ヲ一ツ改メテヤリタイ、

ニサウ云フ文字ガ使ッテアル爲ニ、段々サウウデアリマス、過日來屢々本會議以來ノ質

○升田委員 ソレデハ御協議ニ讓リマスガ、兎ニ角是ハ此委員ノ中ニモ、相當私ト

同ジャウナ御意見ヲ持ツ御方モアリノヤ

斯ウ云フノデアリマス、デアリマスカラ、

段々書イテアル、是ハ内務省社會局ガ軍事救護法ト云フモノヲ基礎ニシテ、サウ云フ

○升田委員 先程ハ其反對ニ伺ッタノデサガ、サウスルト此方ガ七圓二十五錢デ、増額ノ方ガ二圓五十錢デスネ

○山崎政府委員 其通りデゴザイマス

○升田委員 第二條、第三條、第四條ヲ見マスト、此見積人員ガ非常ニ私等ノ考ヘテ居ル所トハ過小デアリマス、第二條ノ第二號ハ改正ニ依ル所ノ平均額ヲ一寸計算シテ見マスト約九十五圓ニナル、ソレカラ第三條第三號及ビ第四條第三號ノモノガ一人當リ平均約二十四圓ニナル、今日ノ財政狀態カラ考ヘテ見マスト、此平均額ハマア、是デ我慢シテ行カナケレバナラヌカトモ思ハレマスガ、此第五條ノ改正ニ依ルモノハ僅ニ七圓二十五錢ト云フコトニナルト、之ヲ十二箇月ニ割ツテ見ルト一箇月平均六十錢デス、折角此法律ヲ改正シテ、生活不能ノ者ト限定サレテ居ッタノヲ、生活困難ナル者ト云フコトニ御改メニナツテ——是ハ過日私ガ本會議ニ於テモ申シタヤウニ當局ノ一大英斷デアル、今日色々建議案若クハ請願ナドノ形ニ於テ現ハレテ居ル所ヲ見マスト、兵ニ一人當リ百五十圓宛平等ニ見舞金ト申シマスカ、優遇費ト申シマスカ、ソレヲ支給セヨト云フ聲ガ續々ト出テ來テ居ル、サウ云フヤウナ時機デアリマスカラ、生活困難ナ者デ、即チ現役若クハ應召中軍務ニ從事シテ居ッテ、其者共ガ家庭ノ貧困ノ爲ニ、軍務ニ従事シツ、モ家庭ノ事ヲ心配シテ居ルト士氣ニモ影響スル、隨テ勤務ノ成績モ

非常ニ悪イ、殊ニ一朝戰爭デモ始ツタ場合ニ於テハ、幾ラ國家ノ爲デアルト申シテモ、家庭ノ事ヲ心配スル結果ハ、段々是ガ軍隊ノ成績ニ影響スルバカリデナク、中ニハ不心得ヲスル、ソレガ爲ニ逃亡スル、或ハ家庭ノ貧困ヲ心配ノ餘リ自殺スルト云フ者ガ、從來統計ヲ取ツテ見ルト相當アルノデス、サウ云フ者ヲ救ハウト云フノ御英斷ヲ以テ、生活困難ナル者ト云フコトニ御改メニナツタ、然ルニ其内容ノ金額ハト云フト一箇年ニ平均七圓二十五錢、一月ニ六十錢、是デ果シテ救護ト云フコトガ出來マスカ、ドウモ私ハ當局ノ御計上ノ根據ヲ理解スルコトガ出來ナイ、次ニ此人員デアリマス、此人員ガ僅ニ一万三千九百人デアル、從來救ツテ居ル人間ガ十一万三千九百三人アルニ拘ラズ、ソレガ今度生活困難ナル者ト云フコトニ緩和サレテ來マスト、此生活困難ナル者ト云フノハ、先程ノ社會局長官ノ御説明ニ據ルト三十五錢以内、都市デ物價其ノ他ノ關係カラ必要ガアルトキハ五十錢マデソレヲ上セテ生活困難者トシテ救フト云フ御話デアリマシタガ、若シサウト致シマシレバ、少クトモ從來ノ十一万三千九百三人ト云フモノカラ二倍乃至三倍ノ人ガ出テ來ルト私ハ思フ、然ルニソレヨリモ

極ク少イ僅ニ一割、是ハ非常ナ見當違ヒデス、今マデノ生活不能ト云フモノハ餘程其範圍ガ限定サレテ居ルガ、今度困難ナ者ト云フコトニナレバ、非常ニソレハ數ハ増スノデス、此三十五錢云々ト云フコトモ、私ハ是ハ後ニ述ベマスガ、サウ云フヤウナ機械的ナ制限デヤイケナイノデアルカラ、實際ニ市町村長ニ委シテ、其實情ヲ能ク知ツタ者ニ救護ノ必要アリヤ否ヤヲ決定サシテ、ソレカラ割出シタノデナイト、唯斯ウ云フ機械的ニ制限ヲ設ケタノデハイケナイ、斯ウ云フコトヲ此間カラモ申上ゲテ居リマスガ、何ニシテモ僅ニ一万一千三百九十人ト云フ從來ノ被救護者ノ約一割シカ見積ツテナイト云フコトハ、是ハ非常ナ認識不足デアル、今マデノ數ヨリハドウシテモ二三倍ニ達スル、ソレガ逆ニ今マデノ數ノ一割ニモ達シナイト云フコトニナレバ、是ハ此間モ私ガ申シマシタヤウニ、非常ナ立派ナル案デアルヤウデアルケレドモ、結局是ハ羊頭狗肉ニ陥リハセヌカ、ソレガ爲ニ從來ノ救護ヲ受ケタ者其他ノ者ガ、サウ云フ所カラ段々出願シテ來マスト、ソレヲ救助セヌ譯ニハ行カナイト云フコトニナツテ、大藏省ヘ補充費目ダカラドシ、出シテ呉レト言ウテモ、吾々ノ見積リカラ見レバ何百万圓ノ金

ガ掛ル、今マデノヤウナ二十万圓、三十万圓ノ金ナラ大藏省モ澁ラズニ出スデセウケレドモ、何百万圓ノ金ヲ出シテ呉レト言ッテモ、決シテ應ズルモノデヤナイト私共ハ考ヘテ居ル、サウスルト、ドウナルカト云フト、結局今マデ救護シタ者ヲ何トカシテ減員シテ、法律上ハ増シタヤウデモ、實質上ニ於テハ却テ減少サシテシマフ、サモナケレバ其金額ヲ餘程從來ヨリモ少クシナケレバ到底是ガ賄ヘルモノデヤナイト云フヤウニ私ハ確信シテ居ル、其點ニ付テノ答辯ヲモウ少シ、唯内務省バカリデナシニ陸軍、海軍ノ御方カラモ伺ヒタイ、吾々ハ傷病兵ノ團體其他「ブライベイト」ノ軍事上ノ諸團體ニ色々關係シテ居リマスノデ、陸海軍ノ答辯ハ明瞭ニ雜誌其他ニ於テ紹介シタイト思ヒマスカラ、責任アル陸海軍御當局ノ御答辯ヲ伺ヒタイ、内務省ヨリモ陸海軍ノ方ニ伺ヒタイ、大體内務省ハ是ハ宜イト思ッテ御作りニナツタノデセウカラ……

○山崎政府委員 一應私カラ内容ヲ申上ゲマシテ、尙ホ必要ガアリマスレバ陸海軍カラ申上ゲルコトニ致シマス、御答ヲ致シマスニ付キマシテ、二ツノコトヲ頭ニ入レテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、第一ハ先程社會局長官ヨリ申上ゲマシタヤウ

ニ、今回「生活スルコト能ハザル者」ト云フノ「生活スルコト困難ナル者」ニ改メマス結果、其標準ヲ何處ニ置クカト云フ問題デアリマス、此問題ニ付キマシテハ、先程御答申上ゲマシタヤウニ、現在ノ施行令ニ於キマシテ、生活扶助ノ爲ニ支出スル費用ハ一日一人三十錢以内トナツテ居ルノヲ三十五錢以内ト改メ考デ居ルノデアリマス、此點ヲ御考置キヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホモウ一點ハ升田サンハ詳シク御存ジノヤウニ、軍事救護法ノ救護ノ決定ニ當リマシテハ、其救護ヲ受ケル家庭ニ收入ガアリマスレバ、其收入ヲ差引キマシテ救護ノ金額ヲ決定スルコトニ相成ツテ居ル譯デゴザイマス、其點ヲ先ヅ御考置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス、サウ致シマス、今回第五條ノ改正ニ依リマスニツノ種類ノコトニ付キマシテ、其事ヲ前提トシテ考ヘテ見マスレバ、第一點ハ扶助ノ標準改正ニ依ル單價増ノ問題デアリマス、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、人數ニ於キマシテハ、十一万三千九百三人、一人年額二圓五十錢、年額二十八万四千七百六十一圓五十錢ト云フコトニ相成ツテ居リマスガ、此十一万三千九百三人ト云フモノハ、現ニ現行ノ軍事救護法ニ依ツテ給與ノ決定ヲサレ、且ツ現在在

當ニ給與ヲ受ケテ居ル人々デアリマス、隨ヒマシテ、今回三十錢ヲ三十五錢ニ上ゲマスコトニ依ツテ、大體年額二圓五十錢アリマスレバ、從來ノ實績ニ鑑ミマシテ十分トハ參リマセスト致シマシテモ、此程度デアレバ先ヅ大丈夫デナイカト云フ風ニ積算ヲ致シタ次第デアリマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、此十一万三千九百三人ガ一箇年ヲ通ジマシテ受ケル譯デハナイノデアリマシテ、平均致シマスレバ二百六十日トカ或ハ二百七十日ト云フコトニ相成ルカト考ヘルノデアリマス、其點モ御承知置キヲ願ヒタイト考ヘマス、第二ノ被救護者ノ増加ノコトデアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、一万一千三百九十人ト云フモノヲ見積ツテ居リマス、是ハ只今御指摘ノ通りニ現在ノ救護ヲ受ケテ居リマス十一万三千九百三人ノ一割デアリマス、此一割ヲ見積ツタノモ、結局收入ヲ差引クコトヲ頭ニ置イテ考ヘテ見レバ、三十錢ガ三五錢ニナルト云フ關係デアリマスガ故ニ、其救護人員ノ殖エル者モ、現在ノ一割程度デ見テ置ケバ、先ヅ大丈夫デハナカラウカ、斯ウ云フ風ヲ見積ツテ居ルノデアリマシテ、決シテ是ガ數倍ニナルト云フヤウナ結果ヲ來スコトハ萬ナカラウト確信シテ

居ル次第デアリマス
○升田委員 只今ノ御答ニ對シテ、モウ一度御伺致シマス、私ガ御伺シマシタノハ——只今御説明ノ第一ニ付テハ觸レマセヌ、決シテ是ハ私ハ満足ハ致シテ居ナイケレドモ、今日ノ財政状態カラ考ヘ、場合ニ依レバ忍バナケレバナラヌカトモ思ヒマスガ、先ヅ此點ニ付テハ私ハ觸レマセヌ、サウデナクシテ今度改正サレル所ノ「生活スルコト困難ナル者」ト云フ者ニ對シテ、人員ガ僅ニ一万一千三百九十人ト云フコトデアル、其額ガ一箇年七圓二十五錢、是ハ今マデノアナタ方ノ統計ニ依ルト、大正十年度ノ如キハ一人平均額ガ二十七圓ニ當ル、是ハ新シク出願シタ者ハ此額ハ貰ヘル譯デスガ、兎ニ角其平均金額ハ尠クトモソレダケハ請求シ得ルシ、又ソレヲ救護シナケレバイカヌ、一人二十七圓、ソレガ今度新シク出願スルノデアルカラ——尠クトモ從來ノ額ヲ其儘ニシテモ、一人平均二十七圓ト云フモノハ此豫算ニ見積ツテ置カナケレバナラス、ソレガ僅ニ七圓二十五錢、月ニシテ六十錢デス、從來ノモノデモヤハリ自己ノ收入ノ不足ヲ補フト云フ場合ガ随分アル、即チ自分ノ幾ラカノ收入ニ足シテ、サウシテ生活シテ居ルト云フコトハ能ク分

ル、分ツテ居ルガ、其額ガ只今申上ゲタヤウニ平均二十七圓デアリマス、之ヲ今回ノ新出願者ニ對シテハ七圓二十五錢ニサツタ理由ハ何處ニアルカ、全然私ハ此基礎ガ分ラナイ
○山崎政府委員 先程モ申シマシタヤウニ、實際ノ救護ニ當リマシテハ、其家庭ノ收入ヲ差引キマシテ決定スルコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ今回生活困難ナル者ト改正シマシタ結果殖エマスル人員ハ、大體ニ於テ收入ノアル家庭ト見ルコトガ當然ダト考ヘルノデアリマス、今マデ收入ノナカツタ者ハ、生活スルコト能ハズト云フ現行ノ規定ニ依ツテ救護ヲ受ケテ居ル譯デアリマス、今度殖エマスノハ、收入ノ割合ニアル家庭ニ在ル者ガ今度ノ改正法ニ依ツテ救護ヲ新ニ受ケルコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ、其一人當リノ金額ハ從來ノヤウニ二十五圓トカ、或ハ二十七圓ト云フ必要ハナイノデアリマシテ、收入ヲ差引イテ計算致シマスレバ、現在ノ施行状況カラ考ヘテ見マシテモ、七圓二十五錢ト云フコトガ適當デアラウ、斯ウ云フ計算ヲ出シタノデアリマス
○川島委員長 升田君ニ申上ゲマスガ、今齋藤君ノ質問中デアッタノデ、アナタニハ海

軍省關係タケテ御許シシタノデス

○升田委員 ヤハリ陸海軍ノコトデ何ツク
ノデ——其答辯ハ一寸當ラヌト思フ、何故
ナレバ、アナタノ方デハ僅ニ五錢シカ差
ガアリマセヌ、僅ニ五錢ト云フモノガ、今
度生活困難デアル者ト、生活不能デアル者
ノ差ニナツテ居ル、先程社會局長官ノ御話ニ
依リマシテモ、僅ニ五錢ノ限界ノ差デア
ル、併シ、五錢ダケノ僅カナ差デモ、人員ノ
増加ト云フモノハ著シイグラウト思フ、其
數ハ別ト致シマシテモ、其五錢ノ差ノ爲
ニ、片一方ハ二十七圓ニナツテ居ルノガ、
片一方ガ七圓二十五錢ト云フノハドウ云フ
譯デスカ

○山崎政府委員 段々御話ガ細カクナツテ
參リマスガ、現在ノ生活スルコト能ハズト
申シマスル者ノ中ニハ、全然收入ノナイ者
モゴザイマスルシ、又十錢ノ收入ノアル者
モアリマスルシ、二十五錢收入ノアル者モ
アリマスルシ、三十錢收入ノアル者モアル
譯デアリマス、三十錢以下ノ收入アル者ガ
所謂生活スルコト能ハザル者ト云フ範圍ニ
相成ツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ其平
均ハ、收入ノ全然ナイト云フヤウナ家庭ガ
入ツテ居リマスル關係上、一箇年ヲ平均致シ
マスレバ、相當ノ金額——即チ二十五圓ガ

二十七圓ト云フコトニ相成ル譯デアリマ
ス、今回ノ改正ニ依リマシテ、生活困難ト
相成ル範圍ハ、只今御話ノヤウニ非常ニ狹
イノデアリマス、隨ヒマシテ其人員モ現在
ノ約一割ヲ見込マバ、大體ニ於テ救護ノ目
的ヲ達シ得ルノデハナイカト思ヒマス、又
金額ニ於キマシテモ、二十五圓ト云フ必要
ハナイノデアリマス、其家庭ノ收入ヲ差引
キマスルガ故ニ、七圓二十五錢ト云フ金額
ヲ計上致セバ、大體ニ於テ生活困難トシテ
新ニ入ツテ來マス者ノ救護ノ目的ヲ達シ得
ル、斯ウ云フ計算ヲ致シマシタ次第デアリ
マス

○升田委員 生活不能ノ者ト言ウテモ、全
然乞食同様デ、少シモ收入ノナイト云フヤ
ウナ者ハ殆ドアリマセヌ、私等ガ被軍事救
護者ヲ調査シテモ、大抵ハ、二十五錢ヤ三
十錢、若クハ四五十錢位ノ收入ハ實際ニア
ル、今日ノアナタ方ノ方デハ、標準ヲ三十
錢以内トナサツテ居ルケレドモ、東京市内、
若クハ地方ニ於テモ私ハ調べテ居リマス
ガ、事實ハ現在四五十錢ノ收入アル者ハ
救護サレル方ニ入ツテ居ル、ソレハドンナ
家庭ニ行ツテモ、何人カノ家族ガ居レバ、三
十錢ヤ四十錢ノ收入ノナイヤウナモノハナ
イ、ホンノ乞食同様ノ者ハ別デアリマスケ

レドモ、サウ云フ者ハ殆ドナイノデアリマ
スルカラ、アナタ方ガ三十錢ト云フコトヲ從
來標準トシテ、ソレ以下ノ收入ノ者ヲ生活不
能ノ者トシテ、ヤツテ居ルト云フコトヲ先程
仰シヤツタガ、私ハ其點ハサウ聞イテ置イタ
ノデアリマスケレドモ、之ヲ今後三十五錢
ニ改メテ、五錢ダケノ差額ヲ付ケテ、生活
困難ナル者ト、生活不能ノ者ト區別ヲスル
ト云フコトヲ仰シヤツタカラ、私ハソレヲ
假定的ニ申シタノデアリマス、實際ハドウ
カト云フト、ソレナコトハナイ、是ハ生活
不能ト、ソレカラ生活困難ト云フヤウナ區
別ト云フモノハ、多クハ從來デモソレハ認
定デヤツテ居ツタノデス、將來モ必ず其認定
デ行クニ違ヒナイ、三十五錢ヤ、ソコラデ
ハ實際ハ三人モ五人モ家族ガ居レバ、生活
不能ト云フコトハソレダケデモ言ヘル、是
ハ實際、法ノ適用ニ當ツテ、實情ニ御通ジナ
イカラサウ云フコトヲ仰シヤツテ居ルノデ、
實ハ三十錢ダノ三十五錢ダノデハ當嵌ツテ
居ナイ、認定的ニ生活不能ノ者デアるか、
生活困難ナ者デアるかト云フコトハ、將來
此法ヲ適用ナサル時ニ於テ、サウ云フヤウ
ナ内規モソレハ多少標準ニハナルト思ヒマ
スガ、實際ハサウデナクシテ、現實是ダケ
ノ生活費ガ掛ル、若クハ是ガ病人デアルト

云フヤウナ者デアツタナレバ、假令五十錢、
八十錢ノ收入ガアツテモ救ハナケレバナラ
ヌト云フコトデ、事實上現在救ツテ居ラレ
ル、ソレハ被救護者ニ就テ個人的ノ、調査
統計ガ大抵アルモノト思ヒマスガ、事實サ
ウ云フ救護ニ當ツタ者ニ付テ能ク御調ニナ
レバ能ク分ル、サウシテ見マスルト、サウ
云フヤウナ標準ガ、三十錢ダラウガ、三十
五錢ダラウガ、實際ノ救助ヲシテ行ク上ニ
新シク生活困難ナ者ト云フ者ニ對シテ、オ
前ハ生活困難ナル者ダカラ救ツテヤルンダ
ガ、是カラ月ニ六十錢宛ヤル、又八月ニ一
圓宛ヤルト云フヤウナコトガ、實際出來得
ルカドウカ、是ハ或ル一種ノ侮辱ヲ感ズル
デヤナイカ、サウ云フ者ニ一圓ヤ一圓以下ノ
金ヲ、即チ平均六十何錢ト云ヘバ六十錢以
下ノ者モアルカモ知レナイ、月ニ三十錢カ
四十錢シカ貰ハナイ者ガアルカモ知レナイ
ガ、是ハ餘リ非常識ナ數字デアル、隨テ徒
ニ強辯シテ御伺スル譯デヤナイ、常識的ナ
判斷デ以テドウデアるかト云フコトヲ御聞
キスル、是ハ何人ニモ分ルト思フ、之ニ付
テハ既ニアナタノ方ト私ハ議論スル譯ニハ
行キマセヌカラ、陸海軍大臣ガ是デ以テ滿
足スル、是デ宜イト云フコトニナレバ、私
ハソレダケ伺ヘバ後ハ伺ハヌデモ宜シイノ

デス、陸海軍當局ニ御同致シマス

○齋藤委員 一寸議事進行ニ付テ——私、次ノ機會ニ御許ヲ願フコトト致シマシテ、今日ハ是デ失禮致シマス

○升田委員 若シ今答辯ガ出來マセヌケレバ、今齋藤君ニ次回ノ質問ヲ、委員長ガ御許シニナッテ居リマスカラ、次回デモ宜シイ、質問ヲ繼續サレルコトニナッテ居リマスカラ……

○山脇政府委員 陸軍ト致シマシテハ、先程松本サンノ御質問ニ對シテ申上ゲマシタヤウニ、マダ之ヲ以テ十分ニ達シタモノトハ考ヘテ居ナイノデアリマスガ、一應現在ノ一般豫算ノ情勢上、此程度デ一應宜カラウト云フコトニ研究ノ結果決メテ譯デアリマス

○山崎政府委員 先程ノ御質問ノ中ニ升田サンノ誤解ガアッタカト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、私先程三十五錢ヲ標準トシテ、收入ガアル場合ハ差引クト申シマシタノハ、一人當リノコトヲ申シテ居ルノデアリマス、一ツノ家庭ニ四人ノ救護ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナ人ガアリマス場合ニハ、大體其四倍、即チ三十五錢ノ四倍、一圓四十錢ト云フモノガ救護ノ金額ニナル譯デアリマシテ、其中ニ五十

錢ノ收入ガアレバ、九十錢ノ金額ヲ給與スルト云フ取扱ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此點誤解ガアッテハイケマセヌカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○堀内委員 一寸關聯シテ……一人三十錢ガ三十五錢ニナッタト云フコトデ、四人家族ノ者ナレバ四人分ト云フノデスガ、現行救護法施行令第二條「一家ニ於テ救護ヲ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ規定ニ依ル費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」トアリマスガ、是ハ實際ハ減額セズニ、家族ノ頭割ニシテ一人前三十五錢ト云フヤウナコトヲ御決メニナルノデゴザイマセウカ、之ヲ又幾ラカ減額シテ御支給ニナッテ居ルノデゴザイマセウカ、其點デ餘程松本君ノ御意見モ緩和スルドラウト思ヒマス

○山崎政府委員 大體ニ於キマシテ取扱ハ多少區々ニハナッテ居リマスルガ、一家族四人位マデハ平均三十錢ノ四倍ヲ支給致シテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、唯其家庭ガ八人トカ九人トカ非常ニ大キナ家庭ニナリマスレバ、十倍、八倍ト云フノデハナイノデアリマシテ、サウ云フ特殊ノ家庭ニ付キマシテハ平均ヨリモ多少減額シテ支給シテ居リマスヤウナ狀況デアリマス

○升田委員 今ノ陸軍政府委員ノ御答ニ付テ申シマスガ、私ガ伺ッタノハ此第五條ニ限定シテ伺ッタノデアリマシテ、總括的ニ此豫算デ満足シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ聽イタ譯デハナイ、特ニマダソレマデ行カナイデ、此第五條ノミニ付テ伺ッタノデアリマシテ、松本君ノ先程ノ質問トハ内容ガ違ッテ居ル、私ノ言フノハ、此七圓二十五錢ト云フヤウナ僅カバカリノ一人平均額デアリマスルガ、是デ適當デアルト思ウテ居ラレルノカドウカト云フコトヲ御伺シタノデアリマス、是ハ陸軍ノミナラズ、海軍ニモ御伺シタイノデアリマス

○山脇政府委員 第五條モ現在ノ情況デハ、先ヅ是デ適當デアルト考ヘテ居リマス

○升田委員 私人ノ質問ハ是デ終リマス

○川島委員長 服部君

○服部委員 最初社會局長官ニ伺ヒマス

ガ、今度改正ニナル所ノ扶助法ハ、内縁關係ノ家族ニモ及ブモノデアリヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイ、其御返事ニ依ッテ更ニ質問致シマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、今回ノ改正法律モ前ノ法律モ同ジデアリマスガ、内縁ノ妻ノコトニ付キマシテハ、是ハ扶助ハ及バナインデアリマス、ドウカ此内縁ノ妻ニ付テハ速ニ届出テ貰ヒ

マシテ、サウシテ内縁關係デ無クシテ貰フト云フコトガ、ヤハリ軍人ノ名譽ノ爲ニモ其方ガ適當デハナイカ、ヤハリ内縁ノ妻ハ此際改正ハ致シマシタケレドモ、此中ニハ入レナイト云フコトニ相成ッテ居リマス

○服部委員 ソレナラバ更ニ質問ヲ致シマス、元來此扶助法改正ノ目的ト云フモノハ、徹底的ニ目的ヲ達スルヤウニシタイト云フノガ御方針デアルカノヤウニ見エルノデアリマス、ソコデ此内縁關係ト云フノハ吾々ノ地方ニ於キマシテハ、婚禮ヲシタカラ直グ入籍スルト云フコトハ、今日ノ場合行ハレテ居リマセヌ、甚シイノニナルト、子供ガ出來タカラ仕方ガナク入レルト云フノガ多イノデアリマス、既ニ田舎ニ於テモサウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、都市ニ於テハ一層此内縁關係ガ多イドラウト思ヒマス、事實サウ云フ内縁關係ノ者ガ澤山アル、今直グニ之ヲ正式ニ結婚ノ手續ヲヤラスト云フコトハ、或ル關係カラシテ出來ナイ所ノ人モアルノデアリマス、陸軍ニ於テモ、海軍ニ於テモ、此内縁關係ノ妻子ヲ持ッテ居ル所ノ兵隊ナリ水兵ナリト云フモノハ、可ナリアルドラウト思フ、ソレガ戸籍上ノ手續ガ本式デナイカラ扶助ヲ受ケルコトガ出來ナイ、斯ウ云フノハ洵ニ私ハ杓子

定木ノヤリ方デハナイカト思フ、事實内縁關係デアツテモ、何等正式ニ結婚ヲシタ者ト違フコトガナイナラバ、市町村長ニ證明ヲサセルナリ、警察署長ニ證明ヲサセルナリシテ、出來ル限リノ扶助ヲスルノガ私ハ當然デハナイカト思フデアリマス、ソコデ陸海軍ノ方々ニ御尋致シマスノハ、私ハ是ハ内縁關係ヲ省イタノハ、杓子定木ノヤリ方デアルト思フデアリマス、調査ノ方法ヲ盡シタナラバ、當リ前ノ手續ヲヤツタモノト同一ノ取扱ガ十分出來ルダラウト思フ、ソレデ内縁關係ノアル所ノ兵隊ナリ、水兵ナリハ、第一線ニ立ッテ後顧ノ憂ガアツテ宜イト云フ理痛ハ、私ハ成立タナイト思フ、ソコデ陸海軍ニ御尋致シマスノハ、餘リ詰ラナイ杓子定木ノコトニ拘泥セズニ、實情ニ即シタヤリ方ヲオヤリニナル意思ハナイカト云フコトヲ御尋スルデアリマス、内縁關係ヲ除クト云フコトガ陸海軍ノ意思デアアルカドウカト云フコトヲ、御尋スルデアリマス

内縁ノ關係ト云フデアラナラバ、ヤハリ民法ノ規定ノ命ズルヤウニ、出來ルダケ早く届出テ貰フ、之ニ付テハ軍人ノ關係デアリマスカラ、聯隊區司令部等ニ於テモ、其方面ニ向ッテ出來ルダケ努力ヲシテ貰フ、サウシテ整理ヲスルト云フ方ニ進ムノガ、一番宜イノデハナイカ、内縁關係ノモノヲ認メマスト、又其處ニ他面ニ色々弊害ノ生ズルコトモナイトハ言ハレナイ、就テハヤハリ民法ノ認メテ居ルヤウニ、届出ヲサセルト云フ方ニ仕向ケテ努力ヲシテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ譯デ、斯ウ言フコトニ軍部ト相談ノ上ニ致シタ譯デアリマス

○**山脇政府委員** 此内縁ノ問題ハ御承知ノ通り色々後ニ問題ガ起ルコトデアリマシテ、御懸念ノ點ハ吾々モ洵ニ御尤ダト考ヘルデアリマス、此點ハ色々社會局方面ト慎重ニ研究致シマシタガ、大體社會局長官ノ答辯セラレマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、陸軍トシマシテハ、部隊ヲ通ジ、聯隊區司令部ヲ通ジマシテ、極力籍ヲ入レサス方ニ努メルノガ適當デアラウト云フ見解ヲ採ツタ次第デアリマス

○**川島委員長** 升田君、先程何か言ハレタヤウデスガ關聯ナラ……

○**升田委員** 私ハ此扶養ヲ受クベキ者ト云フコトニ付テ御尋シタイノデス、ソレガ只今ノ服部委員ノ質問ニ重大ナ關係ガアルノデスガ、扶養ヲ受クベキ者ト云フコトガ、此立法ノ初メニハ決シテ法律上ノ扶養義務ニ就テ言ツタノデハナイ、事實上ノ扶養ヲ受クベキ者ヲ言ツタノデアル、何時ノ間ニカソレガドウ云フ解釋デ以テ此扶養ヲ受クベキ者ト云フノヲ、民法上ノ扶養義務ト云フ解釋ニ限定サレタノカ、恐ラク之ニ内縁關係ノモノガナイト云フナラバ、サウ云フ解釋ノ下ニ於テデアラウ、サウデナケレバサウ云フコトハアリ得ナイト思ヒマス、是ハ私ノ案デアリマスルケレドモ、是ト殆ド同ジヤウナ恰好デ、私が昨年此軍事救護法ノ改正ヲ出シタノモ、要スルニ内縁關係ノ者ヲ入レルト云フノガ主タル目的デ、先程服部委員カラモ御述ベニナツタヤウナ、正式ニ三九度ノ式ヲ舉ゲテ居ッテモ、種々ノ事情デ入籍シナイ者ガ澤山ニアルガ、サウデナク

シテ所謂自由結婚ニ依ツタ内縁關係ノ者モ相當アリマス、併ナガラ是ハ兵士其モノヨリ考ヘマスレバ、是ハ區別ハナイ、自分ガ自由結婚デアラウト、或ハ親ノ許シヲ受ケタ結婚デアラウト、要スルニ妻デアリ子デアル以上ハ、其者ガ生活ニ困難シテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、同ジク其ノ兵士ハ其者ノ生活ニ付テ煩悶ヲ致シテ居ルニ違ヒナイ、生活困難ト云フコトガアル以上ハ、隊ニ居テモ、ヤハリ此事ニ付テハ心配ヲシテ、相當ニ自分ノ心ヲ惱マスト云フコトニ付テハ變リハナイノデス、仍テソレヲ除クト云フコトガ必要デアツテ、此點ヲ改正シテ貰ヒタイト云フコトデ私ノ案モ出テ居リマシタガ、ソレハヤハリ多少其體裁ハ異ツテ居リマスルケレドモ、斯ウ云フ案ニ現レテ居ル所ヲ見ルト、ヤハリソレヲ御採用下サツテ、此内縁關係モ此中ニ御入レ下サツタモノト、實ハ私ハ思ツテ居ツタ、所ガ只今ノ質問ニ依ツテ私ハ驚イタノデスガ、サウスルト云フト、折角家ニ在ル者ト云フコトヲ世帯ニ在ル者ト云フコトニ直シタ所デ、之ニ依ツテ幾何ノ救助ヲ受ケル者ガアルカ、成程此數字ヲ見マシテモ僅ニ八百二十九人ヨリ外ナイ、一万二千ノ町村ニ於テ八百二十九人ヨリ外ナイ、一ツノ村ニ一人程モナイ、デア

ルカラ斯ウ云フ數字ガ出タノデアル、是ハ飛ンデモナイ間違ヒデアル、若シサウ云フコトデアレバ、扶養ノ義務ト云フコトヲ明確ニ改メテ、只今服部委員ノ言ハレタヤウニ、内縁關係ノ者ヲ入レナケレバ、此改正ノ實ト云フモノハ絶對ニ學ヲスト思ヒマスガ、其點ニ對スル政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○廣瀨政府委員

此扶養ノ範圍ニ付キマシテハ、是ハヤハリ民法ノ扶養ヲ受クベキモノ、範圍ニ從來モ解釋シ來ツテ居ルノデアリマシテ、今回改正ヲ致シマシテモ、ヤハリ内縁ノ妻ハ入レナイト云フ意見デアリマス、サウシテ内縁ノ妻デナイヤウニ届出ヲ早クサセルコトニ、有ユル努力ヲ拂ツテ、届出ヲサセテ内縁ノ妻ヲ無クスル、斯ウ云フコトニ努メルノガ一番宜イト云フ考デアリマスカラ、内縁ノ妻ヲ入レルト云フ考ハ持ツテ居ラスノデアリマス

○服部委員

今ノ社會局長官ノ御意見ハ御尤デアリマス、アナタ方ガ役所デ仕事ヲヤラレル上ニ、サウ出ラレルノハ當然デアリマス、併シソレハ民情ニ副ハヌ御意見デアリマス、私ノ希望スルノハ、假令正當ノ手續ガシテナクテモ、世間有リ觸レタ内縁關係ト云フモノニ付テハ、是非トモ恩典ヲ

與ヘルヤウニシテ貰ヒタイ、サモナケレバ理窟ガ立タヌ、内縁關係ノモノハ後願ノ憂ガアツテ十分ナ安心ヲシテ戦争ガ出來ヌ、ソレデモ戸籍上ノ關係ガ履ンデナイカラヤラス、斯ウ言ハレルノハ扶助法ノ眞ノ目的ヲ達成スル所以デハナイト思フノデアリマス、ドウカ其點ヲ十分陸海軍カラ交渉セラレテ、是非トモ此扶助法ニ内縁關係ガ入ルヤウニシテ貰ヒタイト云フノガ、私ノ希望ナノデアリマス

○廣瀨政府委員

少し足ラナイ所ガアリマシタカラ補ツテ置キマス、只今ノ御質問ノ御趣旨ノアル所ハ吾々モ諒トスルノデアリマス、其御考ハ能ク分ルノデアリマスガ、内縁ノ妻ト云フモノヲ入レルト云フコトニナリマス、内縁ノ妻ト、サウデナイ者ト云フコトノ區別ナドニ付テ其處ニ色々ト非常ニ難カシイ問題ガ起リ、内縁ノ妻ト云フモノハドウ云フモノカト云フコトニ付テ、其處ニ事實上ノ難カシイ問題ガ起リマス、却テ弊害ヲ生ズル、ソレヨリモ軍務ニ服セラル、諸君ニ對シテハ、ヤハリ民法ノ命ズル所ニ從ツテ出來ルダケ早く、部隊ヲ通ジテナリ或ハ聯隊區司令部ヲ通ジテナリシテ、内縁ノ者ヲ届出デサセル、是ガ大事デアリマシテ、内縁ヲ認メルト云フコトニナ

○手代木委員

一寸關聯シテ……只今ノ内縁關係ノ問題ニ付テノ御質問ノ様子ヲ伺フト云フト、サウ云フモノガ所謂該當スルヤウデアリマス、非常ニ多クアルカノヤウニ聞エルノデアリマスガ、一體私共ノ常識トシテ考ヘテ居ル所ハ、軍人軍屬ノ結婚ト云フモノハ、普通人ヨリハ確ニ嚴格ニ行ハレ、許可制度カ何カ行ハレテ居ルカノヤウニモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、實際ニ於

リマス、ソレニ附隨シテ起ル弊害ノ方モ御考ヲ願ハナケレバナリマセヌ、ドノ程度ノモノガ内縁デアルカト云フコトハ、場合ニ依ルト隨分疑義ヲ生ズルコトモアル、是等ニ對シテハ町村長ノ證明トカ云フコトモ難シイコトデアリマシテ、ヤハリ法ノ上デハ扶養ヲ受クベキモノト云フモノ、範圍ハ、民法ノ範圍ニ據ラナケレバナラナイ、此點ニ付テハモウ隔意ナキ相談ノ結果、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、アナタノ只今御質問ニナツタ御心持ハ吾々ニ能ク分リマスルケレドモ、ヤハリ斯ウ云フ方法ヲ採ルヨリ外ニ仕方ガナイノデアリマスカラ、願クハ内縁關係ノアル者デ軍務ニ服スル者ハ、出來ルダケ早く速ニ届出シテ貰フヤウニ、之ヲ進メテ行カナケレバナラヌト思ヒマス

テソレ等ノコトガドウ云フヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、又今ノ内縁關係ノ、斯ウ云フ扶助ヲ受クベキ該當者ノ取調デモアリマスルナラバ、ソレ等ノ事ヲ參考ニ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員

只今ノ手代木サンノ御質問ニ對シテ御答シマスガ、實ハ軍ニ關スルモノニ付テノ内縁關係ガ、ドノ位アルカト云フコトハ、調ベタモノハゴザイマセヌノデ分リマセヌガ、併シハ私ノ考デハ案外少イノデハナイカト自分ハ思ッテ居リマス、此事ニ付キマシテハ他ノ問題デ、社會局デ一度調ベタコトガアリマスガ、割合ニ少イ、一寸例ニ取ッテハ如何カト思ヒマスケレドモ、マア併シ一ツノ資料トシテ申上ゲマスト、慥カ私ノ所デ職工ノ扶助料ノ問題デ内縁關係ノ問題ガ起リマシテ、職工ニ付テドノ位ノ割合ニ内縁關係ガアルカト云フコトヲ調ベタコトガアル、サウ致シマシタ所ガ職工ノ夫婦關係ニアル者ノ一割チヨット位ガ内縁關係デアアル、大部分ハヤハリ内縁關係デハナイ、結婚シテ居ル者ノ殆ド九割ガ内縁關係デハナイ、サウ云フ實情ガ工場關係ニ付テ出タ經驗ヲ持ッテ居リマス、此經驗カラ致シマシテ案外少イト思ヒマス、ソレデアリマスルカラ此點ハサウ數ノ多イモノデハナイ

ト云フコトヲ御含ミ願ヒタイト思ヒマス

○手代木委員

モウ一ツノ問題、今ノ軍人軍屬ノ結婚手續ノ問題デ何カ參考ニナルコトガアリマシタラ伺ヒタイト思ヒマス

○山脇政府委員

現役ノ兵トシテハ僅カナ期間デアリマスルカラ、是ハ私ハナイト思ッテ居リマス、能ク記憶シテ居リマセヌガ、ソレカラ准士官以上ハ所管長官ノ認可、下士ハ所屬隊長ノ認可ヲ得ルコトニナッテ居リマス

○山本政府委員

海軍ノ方ヲ御答致シマス、陸軍ト大體同ジデアリマス、下士官兵ノ方ハ、兵ハ慥カ、無イト思ヒマスガ、士官以上ノ結婚ハ相當ヤカマシクヤッテ居リマス、下士官兵ノ方ハ其手續ガムヅカシイ爲メ、或ハヤカマシイ爲ニ結婚ヲ内縁關係ニシテ置クト云フヤウナコトハ餘リナイト考ヘテ居リマス、尙ホ此際一寸申上ゲテ置キマスガ、私ハ多年航空部隊ヲ指揮致シマシテ、今日マデ平時ニ於テモ百數十名ノ部下ヲ殺シタコトガアルノデ、此下士官兵ノ身分等ニ付テハ隨分仔細ニ實際ニ當リマシテ研究シ、又心膽モ碎イテ居タ経験ガアリマスノデ、只今内縁關係ニ付テ所見ヲ申述ベマスレバ、航空以外ノ場合ニ於キマスト云フト、平常ノ勤務ニ於テ命ヲ失フ、或ハ非

常ナ大キナ怪我ヲスルト云フコトハ割合ニ少イノデアリマスルケレドモ、是カラ陸軍ニ於キマシテモ、海軍ニ於キマシテモ航空ガズンノ發達シマシテ之ニ従事スル人員ガ非常ニ多數ニナルト云フト、軍隊生活ヲヤッテ居リマシテモ、明日ガ日モ分ラナイト云フ覺悟ガ常ニ必要デアリマス、隨テ私トシマシテハ部隊ヲ率キマス上ニ於テ著任第一ノ部下ニ對スル自分ノ考ハ、常ニ戰場ニ在ルト云フコトヲ以テ目標ニシテ居ルノデアリマス、常ニ戰場ニアルト云フコトハ命

モ何時失フカ分ラヌゾ、ソレニ對シテ常ニ自分ノ修養、自分ノ覺悟、自分ノ家族ニ對スルコト、御奉公ニ對スル觀念、總テヲ含ンデ居ルノデアリマシテ、隨テ此内縁關係ダケデ置キマスト云フト、只今ノヤウノ問題モアリマスケレドモ、ソレヨリモット大キイ死シタ時ニ遺族扶助料トカ、ソレカラ一時賜金ノ問題モアリマシテ、是ハ非常ナ問題デアリマシテ、之ニ色々困難ガ生ジマスノデ、ソレデ私共ハ、是ハ私バカリデハアリマセヌガ、大體サウ云フ風ニシマシテ、今ノヤウノ内縁關係ヲ結ンデ居ル者ガ若シアリマスルナラバ、ソレヲ能ク論シマシテ、サウシテ出來ルダケ早く手續ヲ執ラセルヤウナ風ニヤッテ、内縁關係ハ極力少クシテ置

キマセヌト云フト、唯戰場ニ出タ時ニ家族ノ救護ガドウトカ云フヤウナ小サイ問題デハナク、自分ガ死シタ先キノ事マデ非常ニ氣ニ掛カルノデ、サウ云フ關係ハナクシテ置ク方ガ宜イ、斯ウ云フ考デ指導シテ參リマシタノデ、本法ニ於キマシテモ、色々御意見モゴザイマシテ御尤ト考ヘマスルケレドモ、マア法トシテハ、ヤハリ内縁ノモノハ出來ルダケ正式ノ手續ヲ早く執ラシテ、サウシテ必要ナル者ハ其手續ノ下ニ此法ニ於テ救護サレル、或ハ保護サレルト云フコトニシタ方ガ宜イト思ヒマス、私トシテハサウ思ヒマス、隨テ内縁關係ヲ除カレタト云フコトニ對シテハ、私トシテハ是デ宜イト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○服部委員 今海軍次官カラノ御説明モアリ、先程陸軍當局ノ御話モアリマシタガ、法トシテハ無論内縁關係ノ者ヲ認メナイト云フ方ガ私ハ正當ダト思フノデス、又才役人トシテ取扱ハレルノモ其方ガ樂デアリマス、併ナガラ有事ノ時ニナッテ、サア一旦動員ヲヤルト云フヤウナ時ニハ、斯ウ云フ問題ハ平素ニ於テナイ所ノ問題ガ數多ク現レテ來ルダラウト思フ、ソレガ皆ノ者ガ徹底的ニ平素カラ戸籍ノ關係ヲ整理シテ置カナケレバイカスト云フ考ヲ持ッテ、皆ガ整理シ

テ置ケバ宜シイガ、中々ソレハ徹底セヌ、ソコ不幸福極マル人間ガ出來ルカラシテ、此法ハ融通ノ付クヤウニ平素カラシテ置イテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、戶籍ノ手續ヲ踏シ居ラヌ者ハ仕方ガナイデヤナイカ、ソナモノヲ認メルト弊害ガアルカラ、ソレハ認メルコトハ出來ナイト斯ウ仰シヤルノハ、ソレハ當リ前ノコトデア

ル、併ナガラ今日非常時、準戰時ト云フ居ルノデアルカラシテ、イツ何時ト云フ事態ガ發生スルカモ分ラナイ、其發生シタ時ニ於テモ、一人ノ人間モ漏レズ此恩典ヲ蒙ルコトガ出來ルト云フヤウニスルノガ、此法ノ趣旨デアリトシタナラバ、ソコニ伸ビ縮ミガ出來ルヤウニ法ヲ拵ヘテ置イテ戴キタイ、斯ウ思フノデス

○山脇政府委員 只今ノ御質問ニ、ビツタリ直接當テ御答ラスル譯ヂヤゴザイマセヌガ、只今御質疑ガゴザイマシタカラ、私カラ申上ゲタイト思ヒマス、海軍次官カラ今御話モゴザイマシタガ、滿洲ニ參リマシタ者ガ不慮ノ犠牲ニナリマシタ際ニ、能ク後デ問題ガ此事ニ付テ起ルノデゴザイマス、私モ自分ノ部下ノ中デ、ヤハリ問題ヲ後デ起シタコトガアルノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトニ鑑ミマシテ現在ハ殊ニ滿洲

ニ行キマス部隊ニ屬スル者ハ、極メテ氣ヲ付ケマシテ入籍ヲサスヤウニ、各方面ニ努メサセテ居リマス、尙ホ今後ノコトヲ考ヘマスト、是ハ一般ニ徹底サス必要ガアル、是ハ戰爭準備ト云フ方カラ見マシテモ、洵ニ大切ナ事デアアル、斯ウ考ヘテ居リマス

○服部委員 今ノ問題ハ當局ノ御意見大體承知致シマシタ、何時マデ言ウテ居ッテモ限リノナイ話デアリマスカラ、私ハ満足ハ出來マセヌケレドモ、是ヲ以テ私ノ質問ハ打切りマス、今ノ問題ニ付テハ——ソレカラモウ一ツハ、兵隊ハ是マデハ入隊シテカラ自分ノ家へ歸ルマデノ期間扶助ヲ受ケル、今度ノ改正案デハ、場合ニ依ッたら二十日以内、之ヲ繼續スルコトガ出來ル、斯ウナッテ居ルヤウデアリマス、サウスルト歸ッテカラ後ノコトハ宜シウゴザイマスガ、詰リ入隊スルマデノ間、隨分杖トモ柱トモ頼ム所ノ人ガ入營スル、ソコデ救助ハ入營ヲシテカラデナケレバ受ケルコトガ出來ヌ、ソレデハ其間ハドウシテ暮スカ、此問題ガ起キテ來ル、是ハヤハリ自分ノ家ヲ出發シテカラ救助ヲ受ケルヤウニ、後カラ遡ッテモ宜シイ、救助ヲ受ケ得ラレルヤウニスルノガ當然デハナイカ、其間ノ生活ハドウシテヤルカ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是

ハ斯ウ云フヤウニ一ツ御考ヲ願ヒタイト思フ、ソレカラモウ一ツ序デニ御尋シテ置キマスガ、縣廳デ調べマスト云フト、實際此救助ト云フコトニ付テ色々ノ手續ガアリ、縣廳デ其金ヲ取替ヘルコトモ出來ヌデ、非常ニ困ルラシウゴザイマス、之ヲ何等カノ方法ヲ以テ一日モ早ク扶助ノ實ガ舉ガルヤウニ、現金ノ給與ヲ努メテ迅速ニ行ヒ得ルデアリマス、是等ノコトニ付キマシテハ御答辯ハ要リマセヌ、唯私ノ希望ダケヲ述ベテ質問ヲ終リマス

○升田委員 只今服部委員ノ御質問ニ對シテ陸海軍ノ政府委員カラ御答辯ガアリマシタガ、是ハ内縁々々ト頻ニ先程カラ内縁ニ付テ御話デシタガ、内縁ト言ヘバ妻ノコトバカリデナクシテ——普通内縁ト言ヘバ妻ノコトデスガ、ソレカラ生レタ私生子デス、是ハアナタ方ガ、斯ウ言ウテハ失禮デスガ、陸海軍、内務省トモ認識ガ不足ダト思フ、殊ニ海軍次官ノ只今御話ニナッタヤウナ航空ニ従事スル者ハ、ヤハリ許可ヲ得テ初メテ結婚スル所ノ下士官以上ノ者デア

ル、兵隊ハ少イグラウト思フ、ヤハリ下士官以上ノ者ガ多イノデハナイカ、斯ウ思ヒマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、第一子供

ノ方デス、子供ハ私生子ト云フコトニナッテ居ル、此私生子ト云フモノガ非常ニ救ハレヌ、是ハ主ニドウ云フ場合ニ問題ガ起リマスカト云フト、應召軍人デス、應召ノ軍人ニ非常ニ是ガ多イノデス、現役ハマダ若いノデスカラ妻ヲ持ツトカ持タヌト云フ問題ハ餘リ起ラスデス、一旦現役ヲ終ッテ、サウシテ郷里ニ歸ッテカラ妻ヲ持ツ、ソレガ非常ニ内縁關係ガ多イ、先程一割位グラウト云フコトデアリマシタガ、私ノ見ル所デハ一割ドコロデハナイ、二割モ三割モアルダラウト思フ、兎ニ角色々地方ノ慣習其他ニ依リマシテ正式ニ親ガ許シタ所ノ縁組ヲシテ居ッテモ、中々戶籍ヲ入レヌト云フコトハ先程服部委員ノ言ハレタ通りデアアル、是ハ地方ノ慣習モアリマスレバ、或ハ夫婦ガ兩方ノ關係ガ、相當氣心ガ分ルマデハ直チニ戶籍ハ入レナイ、其内ニ子供ガ生レテ來ル、ソレデソレガ召集ニ應ジテ行クト云フ場合ニハ、ソレハ私生子トナッテ居ル、ソレガ澤山アリマス、是ハ恩給請求權ニモ關係シテ、陸軍省デモ海軍省デモ人事局デハ十分御承知ノ筈デアリマスガ、所ガソレ以外ニ實際ノ自由結婚ニ依ル所ノ内縁關係ト云フモノガ又非常ニ多イ、是ガ一朝有事ノ日ニ應召サレタ場合ニハ、其子供ト云フモノ

ハ皆救ハレナイノデス、大體此軍事救護法ヲ一番初メ考ヘ出シタノハ、是ハ救ハレヌ恩給法ヲ補フト云フノガ主要ノ目的デアッタ、兎ニ角傷病兵ト云フモノニ對シテ非常ニ同情スルト同時ニ、軍人遺家族ト云フモノニ同情シマシタノデスガ取分ケ此軍人家族ノ中デ此内縁關係デ救ハレヌ者モ非常ニ多イカラト云フノデ、此救護法ト云フモノガ初メ出來テ居ッタノデアリマスガ、豫算關係ノコトデ此案ヲ削ッテシマッテ、此内縁關係ヲ止メテ、唯家ニ在ル者即チ戶籍ニ入レタ者ダケニ限定シタノデス、其立法ノ當初カラ其點ハ能ク分ッテ居ッタノデアリマス、所ガ今度改正スルト云フコトニナレバ、其點ガ主デアアル、家トアルモノヲ態々世帯ト直シタノハ、此等ノ者ヲ救フ意味ニ於テ初メテ意味ヲ爲スノデアリマス、精シク言ヘバ内縁關係ノ妻及私生子ヲ助ケルト云フコトガ、意味ガアルコトデハナイカト思フ、ソレデ先程御話ニナリマシタヤウニ、唯内縁々々ト言ッテ妻ダケノコトヲ御考ヘニナリ、御答辯ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ餘程間違ッテ居ル、此私生子ト云フモノハ一體ドウ云フヤウニ御考ヘニナッテ居ルカ、是ハ既ニ出來タ事實ダ、早ク子供ヲ届ケ出ヨト言ッタ所ガ、既ニ私生子トシテ生マ

レタ者ハドウスル、ソレハ法律デハ保護出來セヌ、ソレハオ前ガ届出ヲ意ッテ居ルカラ私生子ト云フノハ仕方ガナイ、オ前ガ届出ナカッタカラオ前ノ罪ダト言ッテ居リマシガ、妻ナラバ早ク戶籍ヲ直セト云フコトモ言ヘルカモ知レマセヌガ、是カラ教育ヲシテ戶籍ヲ届出サセテ、成タケサウ云フコトヲ少クスルト云フヤウナ問題ハ、事實ニ即セナイ問題デアアルト思フ、ソレデモ尙ホ此私生子ナリ内縁ノ妻ト云フモノハ助ケル必要ガナイト云フ御考デアルカ、陸海軍ノ政府委員カラモウ一度此點ニ付テ御答ヲ得タイ

○梅津政府委員 此問題ハ内務省ノ主管ノ問題デアリマスカラ、殊ニ法的ノ問題ハ内務省ノ方カラ御答ヲ申上ゲル方ガ至當ダト思ヒマス

○升田委員 一寸御伺致シマス、是ハ陸海軍ガ之ニ參加サレテ同意ナサッタト云フコトハ、内務省ノ方ノ答辯ノ中ニアリマスカラ、サウスルト是ハ内務省ニ徒ニ之ヲ責メテ彼此レ言フノハ少シ筋違ヒダト思フ、實際内務省ノ所管ニナッテ居ルケレドモ、陸海軍ガ其兵士ヲ助ケルト云フ氣持デヤッテ行カスト、ドウモ少シ是ハ事實カラ申シマスト本末顛倒デハナイカト思フ、唯形式ダケヲ

言フノデハナイ、實際ニ於テ只今モ申シタヤウナ内縁ノ妻ダトカ、私生子トカ云フモノヲ放ッテ置イテ一方兵士ガ應召中ニ、自分ノ子供モ家内モ食フコトモ出來ヌト云フヤウナ手紙ガ隊ヘ届ク、其刑那彼ガドウ云フ考ヲ持ツカ、是ガ滿洲トカ支那トカへ行ッテ實際實戰ノ場合ニドウデセウ、非常ナ士氣ノ沮喪ヲ來シテ戰爭ノ結果ニモ大キナ影響ヲ與ヘルト云フコトガアリハシナイカト云フコトヲ、私ナドハ顧念シテ居ルノデス、

是ハ内務省アタリカラ御考ニナルト、吾々ハ餘リニ執拗クサウ云フコトヲ主張スルヤウニ御考ヘニナルカモ知レヌガ、吾々ハ實戰ニ多數ノ部下ヲ連レテ行ッテ、多數ノ部下ヲ殺シタリ、多數ノ部下ヲ教育シタリシテ居ル中ニ其慘狀ヲ認メタ爲ニ、微力ナガラ此問題ニ付テ二十幾年間没頭シテ、今日マデ研究シテ來テ居ル、其實情ヲ能ク知ッテ居ルカラ執拗ク申上ゲルノデス、之ヲ唯一片ノ法律ノ上ノ遊戲的ノ争ヲ當局ト交ハサウト云フノデハナイ、全く眞劍デ吾々ハ聽イテ居ルノデスカラ、本當ニ其兵士ヲ教育シテ指導スルノ外、其家族、遺族ナドノコトニ就テモ、モウ少シ想到ナサッテ御答辯ヲ願ヒタイト思フ、唯之ヲ何トカ言ヒマクッテ強辯シテ、白ヲ黒ト言ヒ張ッテシマヘバソレデ宜

イト云フヤウナ考デアリマスマイケレドモ、ドウモ先程ノ御答辯ハ同情ガ少シ缺ケテ居ルヤウニ思フ、皆サンノ御質問ノ中ニ現レタコトト、陸海軍當局ノ御返事ガドウモビッタリト同情的デアルヤウニ私ハ之ヲ解スルコトガ出來ナイノデアリマス、モウ一度只今ノコトヲ御伺致シタイ

○山脇政府委員 此法律的ノ問題ニ付キマシテハ、内務省ノ方デ後カラ御答辯願フコトニ致シマシテ、先程モ私ガ申上ゲマシタヤウニ、此法殊ニ恩給法ノ關係デ内縁ノ妻トカ或ハ私生子トカ、尙ホ其外ニマダ親ノ關係モゴザイマスガ、能ク後デ問題ガ起ッテ困ルノデゴザイマシテ、斯ウ云フ事柄ハ第一線ニ立ッテ働イテ居リマスモノヲ安心シテ働カス爲ニ、又名譽アル犠牲者ノ後ニ紛争ヲ起サセナイ爲ニ、軍當局ト致シマシテハ最モ注意シマシテ、之ヲ排除シナケレバナラヌコト、吾々モ深ク考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレデアリマスカラ此軍人ノ、殊ニ先程御觸レニナリマシタ在郷ノ軍人デゴザイマス、斯ウ云フモノ、戶籍ノ手續ヲ完了シマスニ付キマシテモ、尙ホ此上一層私共軍ト致シマシテハ聯隊區司令部及ビ在郷軍人、斯ウ云フ方面ヲ通ジマシテ徹底サセテ完了シナケレバ、眞ノ戰爭準備、精神的ノ

戰爭準備ハ出來ナイト考ヘテ居ル次第デゴ
ザイマス

通りナラバ簡單ガカラ扶養義務者扶養權利
者ト云フヤウニ書ケバ宜イ、扶養ヲ受クベ
キ者ト云フヤウニ具體的ニ書イテアルノ

ガ、其親ノ身ニナッテ見レバ同ジデアアル、却
テサウ云フ日蔭者ハ餘計ニ可愛イ、ソレガ
人情ノ美點デアアル、ソレヲ是ハ前ノ内縁

テハ仕様ガナイ、町村役場ガヤカマシク言ッ
タッテ、家ニ或ル關係ガアルカラ今其手續ハ
出來マセスト言ッタナラバソレマデノ話、ソ

○升田委員 ソレハアナタノ方デハ將來ニ
付テサウ云フ心得ヲ以テ内縁關係、私生子

ハ、事實上ノ扶養ヲ受クベキ者デアアル、本
法ヲ制定シタ當時ノ精神ハサウデス、何時

ノ妻デアアル、オ前ノ私生子ダカラハ是ハ助ケ
スト言ッテ濟ミマセウカ、ソコハ軍トシテ非

レデ一人モ斯ウ云フ内縁關係ノアルモノヲ
無クスルト云フコトハ、是ハ不可能デス、

コトゾ洵ニ結構デアリマスガ、私ノ間ハン
ト欲スル所ハサウデナク、既往ニ付テサウ

ノ間ニカサウ云フ民法上ノ扶養義務ト解サ
ル、ニ至ツタモノダラウト思フ、ソコデアラ

常ニ御考ニナラナケレバナラスコトデアラ
ウト思フ、是ガ小サイ問題ダト思フヤウデ

如何ニ困ッテモ放ッテ置ク、放ッテ置クノモ宜
シイ、併シ戰場ニ立ッテ後顧ノ憂ノアル人

云フ事實ヲ何ト御認メニナルカ、將來ノ教
育ニ依ッテソレヲ是正スルト云フコトハ結

死文ニナッテシマフ、折角家ニ在ル者ト云フ
コトヲ世帯ト云フヤウニ擴張ニナッテモ、其

願ヒマス、先程山崎政府委員ハ色々ノ手段
方法ヲ盡シテ戸籍上ノ手續ニ遺漏ノナイヤ

間ヲ澤山作ルト云フコトハ、此法ノ精神デ
ヤナイト思フ、ソレデアアルカラ此法ハ努メ

去ニ於ケル所ノ内縁ノ妻、私生子ト云フモ
ノハ決シテ助カルノデヤナイ、斯ウ云フモ

八百二十九人、ソレハソソナモノデセウ、
ソレデハ態々此二ツノ條ヲ直シタ目的ト云

願ヒタイ
○服部委員 今ノ升田君ノコトニ關聯シ
テ、私モ述ベタイト思フ、一緒ニ御答辯ヲ

心配ナク十分戰鬪行為ガ出來ル、斯ウ云フ
ヤウニスルノガ此法ノ精神デアアルノデヤナ

ノハ非常ニ多數ニ散在シテ居ル、現ニ先程
服部委員ノ御話ニ依ッテモ、既ニ縣廳アタリ

フモノハ何ニモナリハシナイ、一万二千有
餘ノ町村ニ付テ年ニ八百二十九人ト言ッタ

ウニサセル、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタガ、
ソレハ理想デアラウト思フ、中々サウ行ク

ソコニアルノデアリマス
○廣瀨政府委員 私カラ答辯申上ゲマス
ガ、先程來色々御意見ガアリマシタガ、吾

デモ之ヲ認メテ居ッテ、ソレヲ申込シテ居
ル、服部委員ノ考デヤナイ、縣廳ノ係ノ者

ラ一ツノ村ニ平均一人ニモナリマセヌ、ソ
ナ改正ノ方針ダト云フコトニナルト、吾

モノデヤナイ、其證據ハ私、在郷軍人ニ關
係シテ能ク知ッテ居リマスガ、兵役ヲ終ッタ

ガ、先程來色々御意見ガアリマシタガ、吾
吾モ決シテ此問題ニ付テ唯冷カニ考ヘテ居

コトヲ見テモ明カデアアル、私ガ多年此問題
ニ付テ心配ヲ致シマシテ私モ昨年ノ案ヲ出

シタノデアリマスカラ、先程モ申上ゲマシ
タヤウニ、此扶養ヲ受クベキ者ト云フコト

居ラヌ人間ガ、ドレダケアルト思召スカ、
居ラヌ人間ガ、ドレダケアルト思召スカ、

フ氣ノ毒ナ者ノナイヤウニ、有ユル努力ヲ
拂ッテ行カナケレバナラスト云フコトハ、洵

ニ付テ心配ヲ致シマシテ私モ昨年ノ案ヲ出
シタノデアリマスカラ、先程モ申上ゲマシ

救ハナケレバナラス、救フベクシテ救ハレ
ヌ者ガ澤山居ル、殊ニ一旦戰ガアッタ時ニ

ハドウスル積リカ、サウ云フモノガ澤山ア
ル以上ハ、ヤハリ戸籍ガアラウガアルマイ

ガ、私生子デアアラウガ、嫡出子デアアラウ

タヤウニ、此扶養ヲ受クベキ者ト云フコト
ニ付テハ、是ハ民法上ノ、法律上ノ義務デ

ナクシテ事實上ノ義務ナリト私ハ解シテ居
ル、又カルガ故ニソレガ此扶養ヲ受クベキ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

者ト云フノガ即チ民法上ノ扶養義務者扶養
權利者ト云フ書キ方ト違フ、若シ御解釋ノ

ニ其通りデ、私共モサウ心得テ居リマス、唯併シ先程來申上ゲマシタヤウニ、法トシテノ規定ヲ設ケル場合ニハ、ヤハリ民法ノ規定ガ認メテ居ル届出ノ義務ト云フコトヲ出來ルダケ一ツ實行サシテ、サウシテ其方法デ以テ正式ノ妻ニサセルヤウニ、有ユル方法ヲ採テヤラナケレバナラス、ソレヲ此法律デハ認メテ行カナケレバナラスト云フ立前デ進マナケレバナラスト思ヒマス、又私生子ノ問題ニ付キマシテハ、私生子ハドウスルカト云フ仰セデアリマスガ、之ニ付テハ、私生子ニ付テハ認知ノ方法ヲ御探リ下サレバ、ヤハリ自分ノ子供ニナルノデスカラ、認知ノ方法ヲ採テ貫ヒタイ、サウスレバヤハリ扶助ガ出來ルト思ヒマス、何レニ致シマシテモ、御説ノ御議論ニ付テハ、

吾々モ情ニ於テハ全く同ジデアリマスガ、法ノ上ノ取扱トシテハ已ムヲ得ナイ、ソレカラサウ云フコトデアルナラバ、事實拔ケタ者ハドウナルカト云フ御心配デアリマス、是ハ御尤デアリマスガ、之ニ對シマシテハ御承知ノヤウニ、他ノ途モナイデハアリマセヌ、他ノ途ト申シマス、例ヘバ軍事扶助團體ノ如キモノモ活動ノ餘地ガ十分ニアリマスカラ、斯ウ云フコトニ向ッテ活動ヲ願ッたら宜シイノデハナイカト思ヒマス、

又法律上ノ問題ト致シマシテハ、軍事扶助法デナクテモ一般ノ救護法ナルモノモゴザイマス、斯ウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、ヤハリ救護スルコトモ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、ソレデ出來ルダケ正式ナ手續ヲ執ッテ貫ッテ、サウシテ已ムヲ得ヌモノニ付テハ、他ノ途ヲ考ヘデモ致シマシテ、皆サンノ御意見ノアル所ニ付テハ、出來ルダケ副ヒタイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○川島委員長 陸軍次官ガ御見エニナリマシタカラ、此際保留サレテ居ル前田幸作君ノ質問ヲ許シマス

○前田委員 質問ヲ繼續致シマス前ニ、一般質問ヲ申上ゲテ置キマシタ御答辯ヲ願ヒマス

○川島委員長 陸軍次官ハ先程御見エニナラナカッタノデスカラ、モウ一遍簡單ニ趣意ヲ御繰返シニナッテハ如何デアリマスカ

○前田委員 ソレデハ申上ゲマス、要點ハ二ツデアリマス、第一段ト致シマシテハ、軍事救護法ノ徹底充實ヲ圖ラレル爲ニ、本法ヲ御提出ニナリマシタコトハ、洵ニ結構デアアル、併ナガラ内容ヲ見マス、洵ニ微温的デアッテ、茲ニ一々申上ゲナクテモ、既ニ同僚先輩諸君ヨリ數字ヲ列ベテ詳細ナル

御質問ガアリマシタガ、私ハソレニ同感デアリマシテ、洵ニ徹底シテ居ラナイノデアリマス、併シマア改正ヲ致シマセヌヨリハ致シタ方ガマシダト云フ意味デ、先ヅ大體ヲ認メタイト思フノデアリマス、所ガ第八條ノ六年以上ノ禁錮其他ノモノニ處セラレタ者ノ家族ハ救助シナイ、斯ウ云フ規定ガアルガ、千篇一律デハイケナイデハナイカ、一應尤ナ點モアリマスガ、ソレデハ困ル者モアル、具體的ノ事實ヲ擧ゲテ言ヒマスレバ、丁度今カラ一年前ノ二・二六事件ノ家族ノ如キハ、既ニ其職ヲ離レマシテ、社會ハ之ニ一瞥モ與ヘテナイ、何故カト申シマスト、ソレハ抗勅部隊ノ者デアッタ、斯ウ云フヤウナ意味デ、洵ニ氣ノ毒ナ状態ニ在ルノデアリマス、偶、政府ノ御答辯中ニサウシタ二・二六事件トハ仰シヤラナイガ、要スルニ罪狀ヲ犯シタ者ハ別段ノ救護ノ方法ニ依ッテ救護スル途モアリマス云フ御答辯ガアッタノデアリマスガ、サウ云フ方面ニ向ッテ、幸ニシテ二・二六事件ノ家族共デ特ニ救助シナケレバナラスヤウナ者ガアリマ

スナラバ、御救助下サイマス御意思アリヤ否ヤト云フコトガ第一問デアリマス、第二問ハ刑死者トカ、其他ノヤハリ第八條ニ該當致シマシテ、本法ニ依ッテ救済スルコトノ

出來ナイ者デアリマスガ、精神的ニハヤハリ斯ウシタ立法ノ御趣旨ニ基イテ、温カイ氣持ヲ以テ御迎ヘ下サイマスヤ如何ニ、言ヒ換ヘマス例ヘバ銃殺デゴザイマス、銃殺致シマシタ者ハ、ソレハサウ云フ罪ニ依ッテ致シタノデアリマスノデ、ソレ等ノ家族ニハ——此席デ申上ゲルベキデアアリマセヌケレドモ、其刑ノ執行後ノ亡骸ニ對シマシテハ、ヤハリ相當ノ——氣持ダケナリト温イ氣持デ、劬ハッテヤッテ戴ケルモノカ、極端ナ言葉デ、無禮ナ言葉デ申シマスナラバ、坊主憎ケレバ袈裟マデト云フヤウナ意味デ、亡骸マデモ一蹴サレルノデアルカ、斯様ナ意味ヲ尋ネマシタ、此二點デアリマス

○梅津政府委員 只今ノ御尋ノ御精神ニ付キマシテハ、私共モ氣持トシテハ、決シテ之ヲ冷カナ、或ハ輕視スルトカ云フヤウナ考ヲ有ッテ居リマセヌ、アノ事件ノ遺家族ニ對シマシテモ、相當同情スベキモノガアルヤウニハ考ヘルノデアリマスガ、軍ト致シマシテハ、之ニ直接何カ救助ノ方法ヲ講ズルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ又是ハ個人トシテ情誼上是等ノ者ニ對スル救恤、或ハ慰安ノ意圖ヲ有ッテ居ル者ニ對シマシテハ、モウ之ヲ阻止スルト云フヤウナ必要ハ、無論ナイモノト考ヘテ居

リマス、陸軍が直接之ニ救恤或ハ慰安ノ處置ヲ講ズルト云フ具體的ノ方法ト云フモノハ、實ハ考慮シテ居リマセヌ、御諒承ヲ願ヒマス

○前田委員

洵ニ御同情ノアル御答辯デアリマシテ、當時關係致シマシタ一千餘名ノ人ハ、諒承出來ルコト、思ヒマス、又私共ハ——前ニ申遅レテ居リマシタガ、努メテ軍ノ現在ノ爲サレルコトニ双手ヲ擧ゲテ贊成ヲ致シタイト云フ絶對的ノ氣持デアリマシテ、問題ハ本委員會トハ別デアリマスガ、豫算等ニ付キマシテモ、現在ノ國際關係上、私共ハ微力ナガラモ認識ラシテ、何時カ寺内前陸相が見セラレマシタ國防ノ映畫ナドモ、先ヅ山間僻地マデモ持出シテ之ヲ國民ニ見セルナラバ、國防費ト云フヤウナ問題ハ起ラスノデハナイカト、自分ハ申上ゲタコトヲ記憶シテ居リマスガ、其ノ立場カラ申上ゲルノデアリマスガ、只今次官ノ御答辯ハ、洵ニ結構デアリマスガ、所方親ノ心子知ラズト申シマスカ、折角ノ軍首腦部ノ御氣持方下々ニ誤ッテ傳ヘラレマシタノカ、徹底致シマセヌノデアリマスガ、昨年即チ昭和十一年ノ七月十二日ニ、十五名ノ刑死者ヲ出シタノデアリマスガ、其中ノ一名ノ親曰ク、自分ノ家ノ倅ハマダ生キテ居ッタノダ

ガ、焼殺サレタ、斯ウ云フ奇怪ナコトヲ、事モアラウニ本員ハ耳ニシタノデアリマス、餘リニ重大ナコトニ驚キマシテ、更ニ聽キ直シタノデゴザイマスガ、其親ハ今尙ホ頑トシテ左様ニ認識シテ居ルノデゴザイマス、是ハ只今ノ御答辯トハ全ク正反對デアリマシテ、銃殺ヲ致シマシタコトハ、是ハモウ此席デ言フベキモノデハナイノデアリマスガ、ソレカラ後ハ所謂精神的ニ今ノ次官ノ言葉ノヤウデナケレバナラスノデアリマスガ、何故ニサウシタコトガ徹底シナカッタノデアリマセウカ、生キテ居ッタノニ焼殺サレタ、是ハ如何御聞キニナルノデゴザイマセウカ

○梅津政府委員

只今ノ御言葉ハ初メテ實ハ承リマシタノデアリマスガ、私ハ此機會ニ、左様ナコトハ全然事實無根デアルト云フコトヲ明確ニ御答申上ゲタイト存ズルノデアリマス、當時ノ處刑ノ狀況等ハ實ハ一般ニ公表致シテ居リマセヌノデアリマスガ、ヤハリ武士ニ對スル禮ヲ以テ取扱ッテ、武士道ニ背カナイヤウニ取扱ヒ、又決シテ取扱フ人道ニ外レナイヤウニヤリマシテ、萬全ノ處置ヲ講ジマシタ、刑死ノ直後ニ於テハ皆軍醫ノ診斷ヲ以テ之ヲ確認シタ後ニ處置ヲサレタノデアリマシテ、此處置ニ付

テハ何等遺漏ガナカッタバカリデハナク、又他ノ非難或ハ疑ヲ受ケルヤウナコトハ、絶對ニナカッタノデゴザイマス、是ハハッキリ此處申上ゲテ御諒承ヲ願ッテ置キタイト存ズルノデゴザイマス

○前田委員

左様デアラウト思フノデゴザイマス、併ナガラ下世話ニ申シマス火ノナイ所ニ煙ガ出ナイト云フコトヲ申スノデゴザイマスガ、此煙タルヤ那邊ニアルカト云フコトヲ申上ゲナケレバ、其噂ヲバ解消スルコトハ至難ナコトダラウト思フノデアリマス、即チ執行サレマシタノハ昭和十一年七月十二日デアリマシテ、之ヲ三班ニ分チマシテ——是ハモウ新聞等デ御發表ニナッタコトデアリマスガ、午前七時ニ五名、午

前七時三十分ニ五名、八時ニ五名、各五名ヅツ合計十五名ノ死刑ヲ執行サレタノデアリマス、其第一班ノ午前七時ニ執行サレタ者ハ七時二十六分ニ絶命ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、第二班ノ七時三十分ノ者ハ八時五分ニ全部終了シタノデゴザイマス、第三班ノ八時ノ者ハ八時三十分ニ終リマシテ、之ヲ一亡骸ニ對シマシテ三名ノ家族ノ接見ヲ御許シニナリマシテ、一時三十分前ニ陸軍刑務所ヲ出門致シマシテ、而シテ幡ヶ谷火葬場外二箇所デ、ソレハ火葬ニ

付シタノデアリマス、而シテ焼終リマシタノハ四時三十分デアッタノデアリマスガ、問題ハ此處ニ煙ガ上ッテ居ルト思フノデゴザイマス、次官ノ御氣持ト事實トガ相反シテ居ルト云フノハ、人道ニ外レヌヤウニ溫イ氣持ヲ以テ、武士道ニ背カナイヤウニト云フ御氣持ト是トガ、正反對シテ居ルノデゴザイマシテ、何故ソレナラバ一定ノ時間ヲ置イテ火葬ニ付セナカッタノデアラウカ、此處ガ煙ノ上ッタ原因デゴザイマス、二十四時間ヲ置カナケレバナラスト云フコトハ、墓地及埋葬取締規則、明治十七年十月四日太政官布達第二十五號ノ第三條ニ依リマシテ明ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、親ノ申シマスノニハ、可哀相ダ、デ特別ヲ以テ優先權ヲ與ヘテ、今カラ行ケバ直グ焼イテ呉レルカラ晚ヲ待タナイデモ宜シイカラト、既ニ靈柩車ノ用意モアリ、當該火葬場ヘ行キマシタ、前日カラノ御話モアリ、所謂此優先權ト云フ一ツノ美シキ言葉ニ「カムフラージュ」サレマシテ、二十四時間ヲ待タズシテ其儘ニ火葬場ニ運ンダノデゴザイマス、サウシテ其中デ某氏ノ親曰ク、家ノ倅ハ聲ヲ擧ゲタ、斯様ナコトヲ言ッテ居ルノデアリマスガ、惜ムラクハ二十四時間ノ時

間ヲ御與ヘニナラナカッタコト、中ニハ自

分ノ家ニ運シデ或ハ一夜ナリトモ自宅ニ安置シタイト云フ親心デアッタノデアリマスガ、是ヲバ頑トシテ要求ヲ御容レニナラナカッタノデアリマス、是ハ如何ナル點デ二十四時間ヲ御置キニナラナカッタノデゴザイマセウカ、此點ヲ質問致スノデアリマス

○梅津政府委員 是ハ總テ陸軍ノ軍法會議ニ於ケル刑死者ノ取扱ノ法規ニ從ッテ處置ヲ致シマシタノデ、決シテ違法ノ處置デハナイノデゴザイマス、又其範圍ニ於テ出來ルダケ人情ニ副フヤウニ取扱ッタノデゴザイマシテ、色々ソレガ爲ニ今ノ聲ヲ擧ゲタトカ、ナントカ云フヤウナコトハ、是ハ全然事實ニ反シテ居ルコトト信ジテ居リマス

○前田委員 陸軍ノ埋葬規定等ニ依ッテヤッタト云フ御言葉デゴザイマシタガ、成程前段私ノ引用致シマシタモノハ一般ノ法令デゴザイマシタ、陸軍埋葬規則明治三十年八月十七日、陸軍省令第二十二號第十八條「死體ハ死亡ノ時ヨリ二日以内ニ埋葬スヘカラス但傳染病等ニ罹リ此期限ヲ待ツヘカラサルモノ又ハ戰時事變ノ際若クハ親族遠隔ノ地ニ在ルモノハ二十四時間ノ後埋葬スルコトヲ得」斯様ニナッテ居リマスルガ、此本文ヲ按ジマスルノニ、原則トシテハ一般法デ

ハ二十四時間デアリマスガ、陸軍埋葬規定ニ依リマスト四十八時間、即チ二晝夜ヲ置カナケレバナラス、但シ戰争及ビ事變、親族遠隔ノ地ニ在ル時ニハ二十四時間後ニ埋葬スベシデアリマスノデ、ヤハリ少クトモ二十四時間、即チ一晝夜ヲ置ケト云フコトデアリマシテ、漸クニシテ陸軍ノ即チ特別埋葬規則ニ依リマシテモ一日ヲ短縮サレタノデアリマシテ、ヤハリ二十四時間ト云フモノハ動カナイノデヤナイカト、斯様ニ存ジテ居ルノデゴザイマス、ソレトモ他ノ特別ナル規則等ニ依ッテノ御處分デゴザイマスカ、併セテ承リタイノデゴザイマス

○梅津政府委員 只今ノハ一般ノ死亡者ニ對スル埋葬ノ取扱デアリマスガ、刑死者ニ對スルノハ別途ノ規定ガアリマシテ、ソレニ基イテヤルノデアリマス

○前田委員 御尋ネ致シマスガ、囚徒所謂刑死者ニ對スル所ノ問題デゴザイマスガ、明治十七年十一月十八日內務省達乙第四十號第十一條ニ曰ク「囚徒ノ死屍ヲ引取埋葬又ハ火葬セント欲スルモノハ獄醫ノ死亡證書寫ニ司獄官ノ檢印ヲ乞ヒテ差出スヘシ」第十二條「區戸長ハ前條ノ屆書證書ヲ領收スルニアラサレハ埋火葬ノ認許證ヲ與フヘカラス」斯様ニナッテ居ルノデアリマスガ、

囚徒ニ關シマシテモヤハリ二十四時間ヲ置カナケレバナナイト云フコトガ當然デアリマシテ、區長或ハ戸長ガ之ニ火葬證明ヲ發行致シマシタ手續等ニ付キマシテモ、洵ニ不可解ナ點ガアルノデゴザイマスガ、次官ノ御引例ニナリマスル囚徒ノ特別ノ法ト云フノハ、如何ナルモノデゴザイマセウカ

○梅津政府委員 只今ノ御話ニナリマシタノハ、是ハ囚徒ガ病氣等デ死シタ場合ノ取扱ノコトデアリマス、死刑ニ處シタ者ノ取扱ハ、其一般規定ニ依ラズニ取扱フコトニナッテ居ルノデゴザイマス

○前田委員 少シ御話ガ違フヤウニ思フノデゴザイマス、一旦銃殺ヲ致シマシタ者ハ、蘇生致シマスト云フコトガナイト云フコトハ、是ハ言ヒ得ラレナイノデゴザイマシテ、成ベク、假令一步ヲ進メテ、百歩ヲ譲リマシテ、二十四時間以内ニ銃殺シタ者ハ火葬ニ付スコトヲ得ト、斯様ナ法律ハアリマセスガ、アルト致シマシテ、譲リマシテモ、成ベクナラバ、生き還ヘルヤウニシテヤラウト云フ氣持ト、成ベクナラバ生き還ヘラナイヤウニ早ク焼イテシマハウト云フ此氣持トデハ、大變ナ差ガアルト思ヒマスガ、初メノ御答辯中ニハ醫師等ノ診斷ニ依ッテ最早蘇生スルコトノナイモノデアルト云フ

御話デアッタノデゴザイマスガ、ソレハ昨日マデ、假令獄舎ニ居ッタト致シマシテモ、壯健ナル國家ノ干城デアッタノデゴザイマス、軍人デアッタノデゴザイマス、其人ガ十五米カ、二十米以内ノ短距離カラ、照準ヲ定メタ所デ撃タレタノデアリマスカラシテ、命中ヲ致セバ、最早蘇生ヲシナイト云フコトハ常識カモ存ジマセスガ、是ハ大變ナ間違ヒデアリマシテ、私ガ申シマスルヨリモ、専門ノ次官ノ方ガ詳シイト思ヒマスガ、彼ノ日露ノ遼陽ノ激戰ノ時ニ、畑中工兵少尉ハ顯顯カラ顯顯ヘ銃貫創ヲ受ケマシテ、三日間ト云フモノハ、假死状態デアリマシタ、尤モ是ヨリ前ニ、顯顯ニ銃貫創ヲ受ケマシタ時ニハ、即死ト云フコトデ發表サレタノデアリマス、其即死ヲ發表サレマシタ畑中工兵少尉ハ、其後工兵大佐ニ昇進ヲ致シマシテ、熊本ノ第六大隊長マデ榮達サレタノデゴザイマス、更ニ第二ノ事例ト致シマシテハ、日露戰争ニ奉天大會戰ノ砌リ、小野田歩兵少尉ハ頭部ニ銃貫創ヲ受ケマシテ、是亦即死ト云フコトデアッタガ、翌日ニナッテ蘇生ヲ致シマシタ、更ニ現在モ大分縣別府市ニ今尙ホ生存シテ居リマスルガ、當時歩兵第四十五聯隊附中隊長トシテ出征致シマシタ高崎大尉ノ如キハ、是亦遼陽ノ、

否ナ首山堡ノ激戦ニ於キマシテ、眉間ノ上ニ彈丸ヲ受ケマシタガ、ドウシタコトカ彈丸ガ出ナクテ、無論一時ハ假死シテ居ッタノデゴザイマス、是亦其翌日ニ蘇生シタト云フ事例ガアルノデゴザイマス、斯様ナコトヲ申上ゲテ居レバ、殆ド枚擧ニ追ガナイノデゴザイマス、要ハ小サナ歩兵銃ヲ撃タレタノデゴザイマスノデ、何レ射手モ一等射手デゴザイマスノデ、標準ハ間違ハナイ、醫者モ之ヲ死シテ居ルト、斯様ニ申シマシテモ、其處ニ幾多ノ、斯ウシタ實例ニ依ッテ蘇生シタコトガアルノデアリマス、カルガ故ニ二十四時間ト云フコトヲバ、ハッキリト法律ガ傳染病以外ノ者ニ付テハ、之ヲ茶毘ニ付スルコトハイケナイ、斯様ニ申シテ居ルノデアリマスガ、何故ニ其時ニ家ニ持チ歸ルコトヲ御否認ニナリマシタカ、私ハ本席デ議論ヲシタイトハ思ヒマセヌガ、一旦家ニ持ッテ歸ルト云フコトヲ言ヒマシタガ、持ッテ歸ッテハナラナイ、優先權ガ與ヘテアルカラト云フ其御言葉ハ、私ハ甚ダ承服シ難イノデゴザイマス、重ネテ申上ゲテ置キマスガ、私ハ軍ノ爲サルコトニハ絶對ノ信賴ヲ表シテ居ルノデアリマスガ、二二六事件ノ處分ニ關シマシテハ、何處マデモ、現在ノ進ンデ居ル状態デハ全面的ニ反對デ

アルト云フコトヲ、ハッキリト申上ゲルノデゴザイマス、是ハ次官及ビ現在ノ大臣ノ御責任デハアリマスマイガ、勢ヒアナタニ御伺シナケレバナラヌコトデアアルノデ、伺ッテ置キマスガ、今度ノ二二六事件ノ處分ニ關シマスコトニ付キマシテハ、私ハ多大ノ疑問ヲ有ッテ居ルノデゴザイマスガ、何故ニ優先權アリト稱シテ、既ニ靈柩車等ノ用意マデ當局ノ手ニ於テサレテ、火葬場ニ早ク持ッテ行クト云フヤウニ、塵ヲ捨テルカノ如クニ爲サイマシタカト云フコトガ、結論的ノ質問ノ一ツト、今一ツハ本人ノ願ヒ出マシタモノニ付テ、何故ニ御許可ニナラナカッタカ、自宅ニ持チ歸ルコトニ對シテ、御許可ニナラナカッタカ、此二ツヲ併セテ承リタイト考ヘマス

○梅津政府委員 只今ノ御話ノ中デ、靈柩車等ノ準備ヲシテ、如何ニモ早ク火葬ヲヤルト云フヤウナコトハ善意デナイ、囚徒ノ扱ヒノヤウニ御考ヘノヤウデアリマシタガ、諸般ノ準備ヲ成ベク、圓滑ニ運ンデ行クヤウニ、又遺家族ニ手數ヲ掛ケナイヤウニ、實ハ出來ルダケ好意ヲ以テ處置ヲヤッタノデゴザイマス、尙ホ其他ノコトニ付テ色々御議論、或ハ御意見等モオアリニナルヤウデアリマスガ、當時執リマシタ處置ニ

付テハ、決シテ違法ノ處置モアリマセヌシ、又人道的ニ見テ不都合トカ、或ハ何等カ非難ヲサレルトカト云フヤウナコトハナカッタコトヲ確信シテ居リマス、是等ノ處置ニ付テハ色々尙ホ其他ニデモ、御質問事項ガアリマシタナラバ、是ハ此委員會ノ問題ト直接ノ關係ハナイコトカト存ジマスルノデ、他ノ機會ニ十分御懇談ヲ申上ゲタイト存ズルノデゴザイマス

○前田委員 本委員會ト直接ノ關係ハナイト云フ言葉デアリマシタガ、左様ニ片附ケテシマフモノデハナカラウト思フノデゴザイマス、軍事ト申シマス、齊シク軍ニ關スル所ノ救護ヲ致シテ居ルコトデアリマセウシ、又委員長ガ御認めニナッテ居レバコソ、發言ヲ御許シニナッテ居ルノダシ、又二月二十七日ノ本會議ニ於キマシテモ、衆議院ノ改正法ニ對シマシテ、選舉法ヲ政民兩黨カラ關係法規トシテ御述ベニナッテ居リマス、又二月二十六日ノ決算委員會ノ冒頭ニ於キマシテ、日本ト云フ國號ヲ「ニツボ

ン」ニ改メヨウト云フコトヲ、大藏大臣ヲ招イテ某委員ガ御尋ニナッテ居ル、何等決算ニ直接ノ關係ナイコトヲ是亦許サレテ居ルノデアリマス、更ニ本委員會ニ於キマシテモ、二月二十七日中村委員殿ヨリ一時間ニ

互リマシテ、恩給法ノ内容等ニ互ルカノ如キ御質問ガアリマシテ、當局カラ只今ト同ジヤウナ御答辯ガアッタノデゴザイマスガ、ヤハリ恩給法モ之ニ關係スルト云フノデゴザイマシテ、最モ關係スルノデゴザイマス、此論法ヲ以テマシテ、私ハ御尋ヲ致シテ居ルノデアリマス、色々爲シテ、問フベカラザルコトヲ、此處ニ持チ出シテ尋ネタトアッテハ、議員ノ常識ヲ疑ハレルコトニナルノデアリマスノデ、此點ヲハッキリト申上ゲテ置クノデアリマス、最後ニ御尋シタイト思フノデゴザイマスガ、當時ノ手續等ニ付キマシテ、何等ノ手落ガナカッタト云フコトニ付キマシテハ、無論左様デアラウト思フノデアリマスガ、ソコガ下世話ニ言フコトデアリマスノデ、言フ者ハ勝手ニ言ヘト云フヤウナ態度ハ、今日ノ制度上面白クアリマセヌノデ、之ヲ更ニ御尋致シマスガ、陸軍ノ刑死者ニ對シテ、所謂特設軍法會議開催中ノ刑死者ニ付テ、別段ノ取扱規則ガアルト云フコトナラバ已ムヲ得ナイノデゴザイマスガ、ソレハ本席デナクテ結構デゴザイマスガ、成ルベク文書ヲ以テ私ノ手許マデ法規ノ拔萃ヲ、其點ダケ本員ニ御示シ願ヒタイノデゴザイマス、私不敏ニ致シマシテ其法規ヲ知ラナイノデゴザイマス

ガ、此處デ只今宙デ御答辯ヲ願フコトモ至難デゴザイマセウカラ、時間的餘裕ヲ見テ御提出ヲ願ヒ、ソレニ依ッテ更ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、本日ノ質問ノ結論ト致シマシテハ、先ツ當日ハソレデ何等ノ支障ガナカッタト云フコトニ取敢ヘズ致シテ置キマスケレドモ、其後ノ白骨等ニ付キマシテハ、大變ナル彈壓ヲサレテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ決シテ冷カナ心デナク、相當同情シテ居ルト云フ次官ノ當初ノ御答辯トハ、益々開キガ出テ來ルノデゴザイマス、所謂中橋中尉ノ白骨ノ如キハ、佐賀市ノ出身デゴザイマシタガ、佐賀驛ニ下車スルコトサヘモ、憲兵當局ノ干涉ガヤカマシクテ許サレナカッタノデゴザイマシテ、佐賀驛カラ二ツ手前ノ神埼ト云フ小サナ驛ニ、中橋中尉ノ白骨ヲ降シテ、密ニ何カ窃盜品デモ運ブカノ如クニ、我家ニ持歸ラシメタト云フコトハ、是ハ決シテ冷カナ心デハナイ、同情サレテ居ルト云フ言葉ガ、洵ニ當嵌ラナイノデゴザイマス、最モ其當時ノ——昨年ノ七月頃ノ二・二六事件ノ關係者——其時分ノ認識ト、今日ノ認識トハ、非常ニ變ッテ參リマシタコトハ、一面ニ於テ私、諒ト致シテ居ルノデゴザイマスガ、假令其當時デアッタト致シマシテモ、所謂醫者ガ手ヲ離シテ

坊主ノモノダ、最早陸軍刑法ヲ離レマシテ白骨トナリマシタモノヲ、何ガ故ニ佐賀驛ニ下車スルコトヲ御干涉ニナリマシタカ、斯様ニ伺ヒタイノデゴザイマス、此點ハ御承知デゴザイマシタデセウカ、スルコトハ事實アッタノデゴザイマス、獨リ此白骨ニ限ラズ、他ニモ之ニ類似スルコトガ往々アッタノデゴザイマスガ、是ハ如何ナル御氣持デゴザイマシタカ、何カ特別ナル指令デモ出テ居ッタノデゴザイマスカ、御答辯ヲ煩ハシタイ

○梅津政府委員 最初ノ御尋ノ點ハ、何レ文書ヲ以テ御答申上ゲマス、實ハ此席デ引續イテノ御質問ハ御容赦ヲ願ヒタイト申上ゲタノハ、一面ニ於テハ主任ノ者ヨリ直接御答辯申上ゲタ方ガ、尙ホ明瞭ニナルト思ヒマシタノト、ソレカラ法規等ヲ只今此處ニ持ッテ居リマセヌカラ、能ク是等ヲ調べマシテ、的確ナル御答ヲ申上ゲタイト云フ爲デモアッタノデアリマス、後段ノ遺骨ノ輸送ノ問題デゴザイマスガ、是ハ實ハ事實ヲ聽取シテ居リマセヌ、併ナガラ憲兵ナリ或ハ司法警察官等デ、何等カサウ云フヤウナ處置ヲ執ッタト云フナラバ當時ノ情勢上治安維持ナリ或ハ何カ人心ニ及ボス影響トカ云フヤウナコトヲ考ヘテヤッタノデハナカラ

ウカト推察スルノデゴザイマスガ、事實ハ、ハッキリ存ジテ居リマセヌ

○川島委員長 前田君ドウデセウ、陸軍次官モ他ノ機會デト言ッテ居ラレマスカラ……

○前田委員 分リマシタ、私決シテ逆襲的ニ申上ゲルノデハナイノデゴザイマスガ、他ノ機會ト申シマシテモ、物ヲ半分御話ニナリマシテ、後半分他ノ機會デト申シマシテモ……

○川島委員長 此委員會デ他日御願スルコトニシテ……

○前田委員 ソレデハ只今ノ白骨ノ件ニ付キマシテ私カラ法規的ノ根據ダケ申上ゲテ置キマシテ、之ニ對スル反駁ナリ御教ヘナリマシテ戴クコトニ致シマス、刑死者ノ制限ト云フモノハ當然法律ニ依ッテ作ラレテ居リマス、「刑死者犯罪者墓標祭祀寫眞等ニ關スル取締方、明治二十四年七月二十七日內務省令第十一號」此第一條ニハ「刑死者ノ墓標ニハ氏名、法號、族籍、年齢、生死ノ年月日ヲ記入スルニ止メ他ノ事項ヲ記スルコトヲ得ス、其墓標ハ遺骸埋葬地又ハ祖先塋域ノ外之ヲ建設スルコトヲ得ス」、尙ホ「異様ノ墓標ヲ建設シ及文字ニ色彩ヲ施スコトヲ得ス」、斯ウ云フ制限ヲサレテ居リマシテ、第二條ニハ「所轄警察署ノ許可ヲ得

スシテ刑死者ノ爲メ公然祭祀ヲ行フコトヲ得ス、但親族ノ香花ヲ供スルノ類ハ此限ニ在ラス」、此處デアリマシテ、家族ガ迎ヒニ參リマシタノニ之ヲアレ是ト言ハレマシタガ、其白骨ヲ佐賀驛デ下車致シマスコトガ何ノ治安ニソレガ觸レルノデアリマセウカ、無論同法第三條ニハ「刑死者ノ寫眞其他肖像ヲ公然陳列シ又ハ販賣スルコトヲ得ス」、其他總テ刑死者ヲ賞揚哀悼スルコトヲ得ス」ト云フコトガアリマスガ、佐賀驛ニ下車致シマシタコトガ、決シテ賞揚哀悼スルト云フヤウナ此精神ニ該當スルモノデナクシテ、己ノ先祖ノ墓ノ在ル故郷ニ歸ルノデアリマシテ、當然ノ下車驛デアリマスノニ、二ツ手前ノ驛デ降シタト云フコト、斯ウ云フコトガ次カラ次ヘ傳ハリ、サウシタ一團ノ頭ニ俺ノ所ノ息子ハ斯ウデアッタ、私ノ方ノ家ハ斯ウデアッタト云フコトガ傳ハリマシテ、遂ニハ生キテ居ル者マデ燒殺サレタ、斯様ナコトマデ出タノデゴザイマスガ、併シ一括シテ之ヲ結論的ニ當局ノ御答辯ヲ要約シテ承リマス、罪ヲ犯シタ者ハソレトシテ、溫イ氣持ヲ持ッテヤル、決シテ冷ヤカナ心デハナイ、相當同情ヲ個人トシテハシテ居ル、軍トシテハ之ヲ遺族ニ對シテ當ノ規定ヲ直チニ行フコトハ出來ナイ

ガ、ト云フヤウナ御答辯デアリマスノデ、ソレハ左様承リマシテ、聊カ諒ト致ス點モアルノデゴザイマス、以上ハ委員長ノ御言葉ノヤウニ、又本委員會ニ於テ他日ニ法規等ノ提出ヲ御願シテ、更ニ御伺スルコトニ致シマス

○川島委員長 本日ハ是デ散會致シマス
午後四時三十分散會